

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則の変更の内容

浜松医科大学医学部医学科では、平成 21 年度に、「経済財政改革の基本方針 2008」により 5 名の恒久定員増を実施し、さらに「緊急医師確保対策」により 5 名の臨時定員増（平成 29 年度までの 9 年間）を行った。これにより平成 20 年度まで 95 名であった入学定員は恒久定員 100 名、臨時定員 5 名の計 105 名となった。

翌、平成 22 年度には「経済財政改革の基本方針 2009」により 10 名の臨時定員増（令和元年度までの 10 年間）を実施し、入学定員を恒久定員 100 名、臨時定員 15 名の計 115 名とした。

平成 30 年度からは前年度の平成 29 年度を期限としていた 5 名の入学定員について再度の臨時定員増（令和元年度までの 2 年間）を実施し、恒久定員 100 名、臨時定員 15 名の計 115 名を維持した。

令和 2 年度からは、前年度の令和元年度を期限としていた平成 22 年度からの臨時定員増 10 名と、平成 30 年度からの臨時定員増 5 名を合わせた 15 名分の臨時定員増（令和 3 年度までの 2 年間）を実施し、恒久定員 100 名、臨時定員 15 名の計 115 名を維持した。

令和 4 年度は、前年度の令和 3 年度を期限としていた臨時定員増（令和 4 年度までの 1 年間）について、再度 15 名の臨時定員増を行い、115 名を維持した。

令和 5 年度は、暫定的な措置として令和元年度の入学定員等の総数を超えない範囲で、令和 5 年度を期限とする入学定員増を行うものである。今回の学則変更は、臨時定員増員の申請に基づき、令和 5 年度の入学定員について、15 名の臨時定員増を行い、115 名とし、併せて 2 年次編入学を含めた令和 5 年度の収容定員を 700 名から 715 名とするものである。

2. 収容定員変更の必要性

本学は、静岡県唯一の医科大学であり、医師養成の推進を果たす役割は大きく、県内医療における医師の需要と供給のバランスを最良の状態に維持することが、本学の重要な使命のひとつである。そのことから、静岡県内に医師を定着させる方策のひとつとして、本学医学部医学科の定員増を実施してきた。

平成 21 年度に「緊急医師確保対策」により 5 名の臨時定員増及び平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」により 10 名の臨時定員増を実施したことで、最初の卒業生を輩出した平成 26 年度以降の卒業生県内就職者は着実に増えている。

実際に、定員増を行う前に入学した平成 25 年度卒業生のうち、県内就職者は 53 名（卒

業生の 53%) であったが、直近の 3 年間では平均 67 名 (卒業生の 56%) であり、定員増による成果が現れていることが伺える。

このことから、今後も地域の医師確保策として現在の定員を維持する必要があると考えられる。

3. 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

収容定員変更に伴い、教育課程等を変更させることはないが、すでに平成 28 年度から国際基準に対応した新カリキュラムを導入し、臨床教育の強化をするため地域医療機関での臨床実習を増やすなど、教育内容を充実させている。

4. (添付資料) 令和 5 年度 医学部入学定員増員計画 教育課程等の概要

令和 5 年度
医学部入学定員増員計画

浜 医 大 総 414 号
令和 4 年 8 月 23 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人浜松医科大学
学 長 今 野 弘 之

「地域の医師確保等の観点からの令和 5 年度医学部入学定員の増加について（令和 4 年 8 月 10 日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

< 連絡先 >

責任者連絡先	職名・氏名	総務課長・根木忠広
	TEL	053-435-2114
	FAX	053-435-2112
	E-mail	ssb@hama-med.ac.jp

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	15
--------	----

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	静岡県	15
大学所在地以外の都道府県		
計		15

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R3とR4の貸与 者数のうち多い 方の数
静岡県	15	15	15	15	15
					0
					0
					0
					0
					0
計	15	15	15	15	15

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和5年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① **令和3年度に実施した**地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
地域枠(学校推薦型選抜)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(区別型)	7	7	大学入学共通テスト、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価する。	高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの人等 (本学が指定する要件を満たし学校長が推薦する人)	R2	
地域枠(一般選抜(前期日程))	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	7	7	大学入学共通テスト、個別学力検査、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価する。	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び卒業見込みの人等	R2	
地域枠(一般選抜(後期日程))	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	1	1	大学入学共通テスト、小論文、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価する。	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び卒業見込みの人等	R2	
合計			15	15				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

② **令和4年度に実施する**地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
地域枠(学校推薦型選抜)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(区別型)	7	7	大学入学共通テスト、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価する。	高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの人等 (本学が指定する要件を満たし学校長が推薦する人)	R2	
地域枠(一般選抜(前期日程))	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	7	7	大学入学共通テスト、個別学力検査、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価する。	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び卒業見込みの人等	R2	
地域枠(一般選抜(後期日程))	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	1	1	大学入学共通テスト、小論文、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価する。	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び卒業見込みの人等	R2	
合計			15	15				

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和5年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

4～5年次には「家庭医療学Ⅰ」(必修)を開講し、家庭医療外来・在宅訪問診療の経験を通して、家庭医療、プライマリ・ケアにおける原則を学んでいる。また、5～6年次には選択臨床実習数も増やし、「家庭医療学Ⅱ」においては医療面接から診察後の振り返りまで一連の流れを経験することで、基本的な診療能力を身につけることができる。

(参考:記入例)

1～2年次には、「〇〇」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成28年度入学生からカリキュラム改正を行い、実習数を増やした。県内高等学校出身者が卒後県内医療機関に勤務する割合は過去5年平均で77%と高い水準を維持している。

(参考:記入例)

平成〇年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■■などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の 別	単位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
4年次	臨床診断学	全員	必修	必修	講義	2	R1
4～5年次	家庭医療学Ⅰ	全員	必修	必修	実習	2	R1
5～6年次	家庭医療学Ⅱ	全員	選択必修	選択必修	実習	2	R1

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください)
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要(1～2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
医師のキャリアパスの相談体制	学内に開設されている「ふじのくに地域医療支援センター」が、後期専門研修プログラムの構築など、県内での研修環境の充実に取り組みながら、卒後のキャリアパス形成等について相談に応じている。	H22
総合診療医の育成と地域への定着	総合診療教育研究センターが、地域でのプライマリ・ケアができる総合診療医の育成・定着を促進するよう、学部教育から専門研修までの教育・研究の支援、指導体制・地域との連携や調整等を行っている。	H28

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定 主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例:200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定 の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の 有無(※1)			
静岡県	15	新入生	200,000	14,400,000	以下の(1)から(2)までの要件を全て満たしたときに、貸与した資金全額の返還を免除します。 (1)大学卒業後、2年以内に医師免許の登録を完了すること。 (2)「静岡県キャリア形成プログラム」※に従い、静岡県内で医師として9年間勤務すること。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	×	×		【地域枠】

(※1) ○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
医学修学研修資金の促進	医学修学研修資金の利用率が高まるよう、返還債務の免除条件にある静岡県内公的医療機関での勤務に関して当該機関に大学病院が含まれるように静岡県と協議を進められ、改善が図られた。	H22
医師のキャリアパスの相談体制	学内に開設されている「ふじのくに地域医療支援センター」が、後期専門研修プログラムの構築など、県内での研修環境の充実に取り組みながら、卒後のキャリアパス形成等について相談に応じている。	H22
医学修学研修資金の促進	令和2年度以降に新たに貸与を受ける者及び、令和元年度までに貸与を開始した者のうちキャリア形成プログラムの適用を受ける者については、令和3年度から大学附属病院での勤務も返還債務の免除の対象期間に加えることとなり改善が図られた。	R3

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

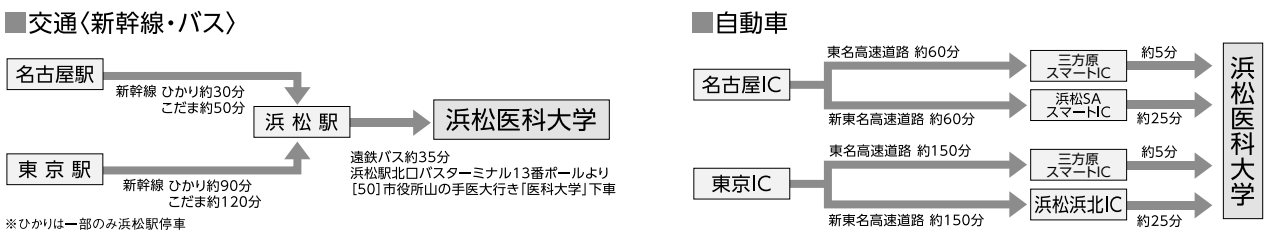
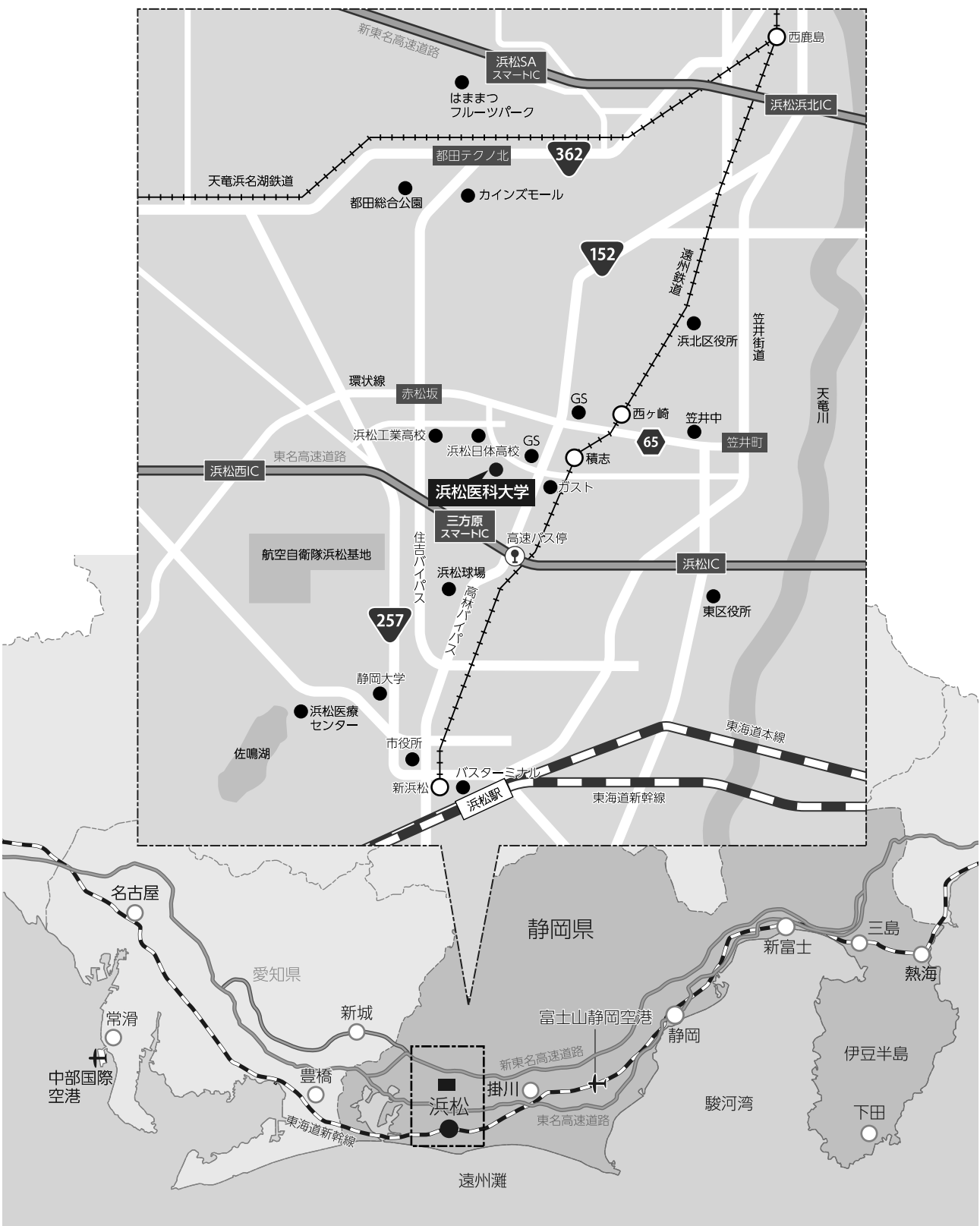
3. その他

1～2に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

初期臨床研修修了後の専門研修においても、地域で大学が関わりを持ちながら支援できるように、引き続き学生対象の卒後研修説明会等で説明を重ねていくこととしている。

浜松医科大学位置図



令和4年度

一般選抜学生募集要項

医学部 医学科
看護学科

一般選抜は Web 出願にて行います。

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、試験日程や選抜方法等を変更する可能性があります。
変更する場合には、本学ホームページにて公表しますので、ご確認ください。
(URL : <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>)



目次

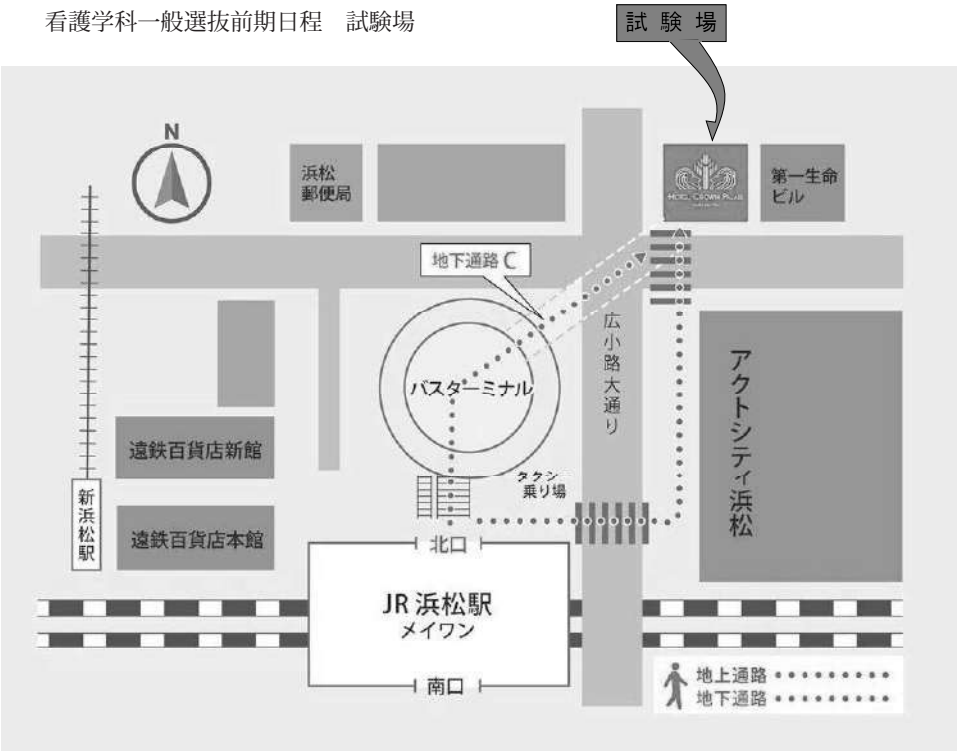
I 出願手続	1
1 出願書類等受付期間	1
2 出願方法	1
3 出願書類等	2
4 出願書類等の提出先及び照会先	3
5 出願上の注意	3
＜共通事項＞	
II 身体に障害を有する入学志願者との事前相談	4
III 個別入学資格審査の実施について	4
IV 受験上の留意事項	5
V 追試験の実施について	5
VI 入試情報サービス	5
1 出願状況	5
2 2段階選抜実施の有無	5
3 合格発表	5
VII 欠員補充	5
1 期間・対象・方法	5
2 留意事項	5
VIII 入学手続及び奨学金等	6
1 入学手続期間	6
2 納付金	6
3 高等教育の修学支援新制度について	6
4 奨学金	6
5 留意事項	6
IX 個別学力検査等結果の情報提供	6
X 個人情報の取扱い	7

【医学科】

アドミッション・ポリシー	9
令和4年度入学者選抜における入試方法の変更点について	11
令和4年度一般選抜学生募集要項 医学部医学科	
I 募集人員	12
II 出願資格	12

キャンパス案内

番号	主要施設名称	番号	主要施設名称
1	講義実習棟	15	サッカー・ラグビーグラウンド
2	臨床講義棟・保健管理センター	16	テニスコート
3	福利施設棟	17	弓道場
4	看護学科棟	18	慰霊塔
5	附属図書館	19	半田山会館
6	基礎臨床研究棟	20	職員宿舎
7	医工連携拠点棟	21	看護師宿舎
8	附属病院	22	R I 動物実験施設
9	管理棟	23	医療廃棄物処理センター
10	体育館	24	国際交流会館
11	武道館	25	フォトン研究棟
12	プール（50M）	26	サイクロترون棟
13	プール更衣室	27	探索的臨床研究施設
14	野球場	28	総合人間科学・基礎研究棟



Ⅲ 前期日程	13
1 選抜方法	13
2 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点	14
3 個別学力検査等の期日、時間割及び実施場所	15
4 2段階選抜の実施	15
5 合格発表	15
Ⅳ 後期日程	15
1 選抜方法	15
2 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点	16
3 個別学力検査等の期日、時間割及び実施場所	16
4 2段階選抜の実施	16
5 合格発表	17
Ⅴ 追試験	17
1 対象者	17
2 選抜方法	17
3 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点	18
4 個別学力検査等の期日及び実施場所	18
5 合格発表	18
Ⅵ 入学手続	18
1 入学手続期間	18
2 納付金	18
Ⅶ 静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要について	19

【看護学科】

アドミッション・ポリシー	23
令和4年度一般選抜学生募集要項 医学部看護学科	
Ⅰ 募集人員	25
Ⅱ 出願資格	25
Ⅲ 前期日程	25
1 選抜方法	25
2 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点	26
3 個別学力検査等の期日、時間割及び実施場所	26
4 合格発表	26
Ⅳ 追試験	27
1 対象者	27
2 選抜方法	27
3 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点	28
4 個別学力検査等の期日及び実施場所	28
5 合格発表	28
Ⅴ 入学手続	28
1 入学手続期間	28
2 納付金	28

災害救助法の適用地域で被災された方々の入学検定料の免除について	29
---------------------------------	----

令和４年度入学者選抜における入試方法の変更点について

【変更内容】出願区分の名称変更

学校推薦型選抜及び一般選抜の出願区分の名称を下記のとおり変更します。

※出願資格、選抜方法等は変更ありません。

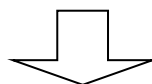
「地域医療枠」 → 「地域枠」

【変更内容】募集人員の変更

募集人員を下表のとおり変更する予定です。

【変更前】

入試区分		一般枠	地域医療枠	計
一般選抜	前期日程	64	11	75
	後期日程	15	0	15
学校推薦型選抜		21	4	25
合計		100	15	115



【変更後】

入試区分		一般枠	地域枠	計
一般選抜	前期日程	68	7	75
	後期日程	14	1	15
学校推薦型選抜		18	7	25
合計		100	15	115

※募集人員は、国及び静岡県医師確保対策の計画等により変更になる可能性があります。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

令和 4 年度一般選抜学生募集要項

医学部医学科

I 募集人員

医学部医学科の出願区分には次の 2 種類を設定し、いずれで出願しても同一の選抜方法により実施します。

① 一般枠

医師や医学研究者等を目指す一般的な出願区分です。静岡県医学修学研修資金の貸与を前提としません。

② 地域枠

静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6 年間）を前提とする場合の出願区分です。卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒後臨床研修及び診療業務への従事をしていただくことになります。

入試区分		募集人員		
		一般枠	地域枠	合計
一般選抜	前期日程	68 名	7 名	75 名
	後期日程	14 名	1 名	15 名

※ 前期日程募集人員には、海外教育プログラム特別入試若干名を含みます。

- 注 1 合否判定にあたっては、一般枠、地域枠に分けることなく、入試成績上位者から、一定の成績の範囲内の者を合格とします。
- 2 上記の合格範囲内に入った地域枠での出願者の人数が当該募集人員を超えている場合は、地域枠出願者の入試成績上位者から、当該募集人員の範囲内までの者を地域枠での合格とし、それ以外の者は一般枠での合格とします。
- 3 志願状況や受験者の入試成績によっては地域枠での合格者数が地域枠の募集人員を下回る場合があります。

II 出願資格

いずれの出願区分も、出願者の出身地及び出身高等学校等所在地による制限はありません。

【一般枠】

本学へ出願できる人は、次のいずれかに該当し、令和 4 年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定する教科・科目のすべてを受験した人としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和 4 年 3 月卒業見込みの人
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人及び令和 4 年 3 月修了見込みの人
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人及び令和 4 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの人

注 学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定に基づき、本学の個別の入学資格審査を申請する人は、令和 4 年 1 月 7 日（金）までに、4 ページの「Ⅲ 個別入学資格審査の実施について」により手続きを行ってください。

【地域枠】

【一般枠】に加え、次に該当する者

静岡県医学修学研修資金の貸与（６年間）を受け、卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒後臨床研修及び診療業務への従事が確約できる人。

静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要については19ページ、静岡県キャリア形成プログラムについては20ページを参照してください。

静岡県医学修学資金貸与制度の詳細は、ふじのくに地域医療支援センターホームページ（下記）を参照又は下記問合せ先にご連絡下さい。

（URL:<https://fujinokuni-doctor.jp/igakuse/shogakukin-gaiyou.html>）

《静岡県医学修学研修資金貸与制度に関する問合せ先》

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町 9－6

静岡県健康福祉部地域医療課医療確保班

TEL：054（221）2868 E-mail:chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

出願上の注意事項

- ・ 志願者は、一般選抜について、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。出願時には「一般枠」又は「地域枠」のいずれかを選択して出願することとなります。
- ・ 2つの大学・学部等に出願する場合、「前期－前期」、「後期－後期」のそれぞれの併願は認められません。
- ・ 本学医学科においては、「前期日程」及び「後期日程」の併願を認めます。
なお、併願する場合は、出願情報を別々に登録し、各々入学検定料の支払いを行ったうえで、出願書類を郵送し出願してください。
- ・ 「前期日程」の試験に合格し、令和4年3月16日（水）までに入学手続きを行った人は、「後期日程」の試験または「後期日程」の追試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- ・ 他の国公立大学・学部の総合型選抜又は学校推薦型選抜の合格者は、総合型選抜又は学校推薦型選抜を実施した当該大学・学部の定める入学辞退手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いて、一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

出願手續については、募集要項1ページをご確認ください。

Ⅲ 前期日程

1 選抜方法

大学入学共通テスト、個別学力検査、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

なお、個別学力検査及び面接において、いずれかの成績が著しく悪い場合は不合格とすることがあります。

個別学力検査及び面接のうち一つでも受験しなかった人は、失格とします。

(1) 大学入学共通テスト

学科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
医 学 科	国語	『国語』	5 教科 7 科目
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から 1科目	
	数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目	
	外国語	『英語』（リスニングを含みます。）	

注 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

(2) 個別学力検査等

教科・科目名等		備 考
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。 数学Bは「数列」及び「ベクトル」から出題します。
理 科	物理（物理基礎・物理）、 化学（化学基礎・化学）、 生物（生物基礎・生物） の3科目のうち、あらかじめ 出願の際に届け出た2科目	物理は、物理基礎・物理の全範囲から出題します。 化学は、化学基礎・化学の全範囲から出題します。 生物は、生物基礎・生物の全範囲から出題します。
外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、 「コミュニケーション英語Ⅱ」、 「コミュニケーション英語Ⅲ」、 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」	左の科目の範囲から出題します。 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」は「書くこと」を出題します。
面 接		出身学校長が作成した調査書を基に、将来、医学・医療に従事する人として活躍できるかどうかの適性を評価します。

注 教科書において「発展的な学習内容」として記載されている内容から出題する場合は、必要に応じて設問中に補足事項を記載する等の措置を講じます。

2 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

学 科	区 分	国語	地 歴	公 民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合 計
医 学 科	大学入学 共通テスト	100	50		100	100	100	—	—	450
	個別学力検査等	—	—		200	200	200	—	100	700

注 国語、地理歴史・公民(1科目選択)、数学、理科は大学入学共通テストの得点を1/2に換算します。外国語（英語）は、リーディング100点、リスニング100点をリーディング150点、リスニング50点の計200点満点に換算し、さらに1/2を掛けて100点満点に換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディングのみで100点満点とします。

医学科

3 個別学力検査等の期日、時間割及び実施場所

(1) 期日・時間割

学 科	期 日	時 間	教 科 等
医 学 科	令和4年2月25日(金)	9 : 00 ~ 10 : 30	外 国 語
		11 : 00 ~ 12 : 30	数 学
		13 : 30 ~ 15 : 30	理 科
	令和4年2月26日(土)	9 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 17 : 00	面 接

(2) 実施場所

浜松医科大学 看護学科棟（浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号）

(3) 留意事項

面接試験における集合時刻については、各人で相違するため別途通知します。

4 2段階選抜の実施

前期日程において志願者数が募集人員の4倍を超え、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、大学入学共通テスト（医学科が指定する教科・科目〔5教科7科目900点満点〕）の成績により第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して第2段階選抜として個別学力検査等を実施します。

実施の有無については、令和4年2月15日（火）に本学ホームページに掲載します。

第1段階選抜不合格者には、受験票に代えて「不合格通知」及び「検定料の返還手続き書類」を送付します。

第1段階選抜時の大学入学共通テストの試験の配点は下記のとおりです。

区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合計
大学入学 共通テスト	200	100		200	200	200	900

5 合格発表

令和4年3月9日（水）17時（予定）

本学講義実習棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続き書類を送付します。

また、本学ホームページ上でも合格者の受験番号を掲示します。

（URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>）

なお、電話等による照会には、一切応じません。

IV 後期日程

1 選抜方法

大学入学共通テスト、小論文、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

なお、小論文及び面接において、いずれかの成績が著しく悪い場合は不合格とすることがあります。

小論文及び面接のうち一つでも受験しなかった人は、失格とします。

(1) 大学入学共通テスト

学科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
医 学 科	国 語	『国語』	
	地理歴史 公 民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から 1 科目	
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	
	理 科	「物理」、「化学」、「生物」から 2 科目	
	外 国 語	『英語』（リスニングを含みます。）	

注 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

(2) 個別学力検査等

教科・科目名等	備 考
小 論 文	主として物事の判断、論理的思考、解決等の能力を評価するものです。
面 接	面接とプレゼンテーションにより、将来、医学・医療に従事する人として活躍できるかどうかの適性を評価します。

2 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

学 科	区 分	国語	地 歴	公 民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合 計
医 学 科	大学入学 共通テスト	200	100		200	200	200	—	—	900
	個別学力検査等	—	—		—	—	—	100	250	350

注 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング 100 点、リスニング 100 点をリーディング 150 点、リスニング 50 点の 200 点満点に換算します。リスニングを免除された場合は、リーディング 100 点を 200 点満点に換算します。

3 個別学力検査等の期日、時間割及び実施場所

(1) 期日・時間割

学科	期 日	時 間	教 科 等
医 学 科	令和4年3月12日(土)	9 : 30 ～ 10 : 50	小 論 文
		11 : 50 ～ 17 : 00	面 接

(2) 実施場所

浜松医科大学 看護学科棟 （浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号）

4 2 段階選抜の実施

後期日程において志願者数が募集人員の 10 倍を超え、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、大学入学共通テスト（医学科が指定する教科・科目 [5 教科 7 科目 900 点満点]）の成績により第 1 段階選抜を行うことがあります。第 1 段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して第 2 段階選抜として個別学力検査等を実施します。

実施の有無については、令和 4 年 2 月 15 日（火）に本学ホームページに掲載します。

医学科

第1段階選抜不合格者には、受験票に代えて「不合格通知」及び「検定料の返還手続き書類」を送付します。

第1段階選抜時の大学入学共通テストの試験の配点は下記のとおりです。

区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合計
大学入学 共通テスト	200	100		200	200	200	900

5 合格発表

令和4年3月22日（火）17時（予定）

本学講義実習棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、本学ホームページ上でも合格者の受験番号を掲示します。

（URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>）

なお、電話等による照会には、一切応じません。

V 追試験

1 対象者

前期日程または後期日程において、以下のいずれかの理由により受験できなかった者が対象となります。

- (1) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験当日までに医師が治癒したと診断していない者
- (2) 試験直前に保健所等から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者に該当するとされた者
- (3) 発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者
- (4) その他、新型コロナウイルス感染症に罹患又は罹患している恐れのある者

2 選抜方法

大学入学共通テスト、小論文、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

なお、小論文及び面接において、いずれかの成績が著しく悪い場合は不合格とすることがあります。

小論文及び面接のうち一つでも受験しなかった人は、失格とします。

(1) 大学入学共通テスト

学科		大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
医 学 科	国語	『国語』		
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	} から 1 科目	
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	理 科	「物理」、「化学」、「生物」 から 2 科目		
	外国語	『英語』（リスニングを含みます。）		

注 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

(2) 個別学力検査等

教 科 ・ 科 目 名 等	備 考
小 論 文	主として物事の判断、論理的思考、解決等の能力を評価するものです。 試験時間は 80 分です。
面 接	面接とプレゼンテーションにより、将来、医学・医療に従事する人として活躍できるかどうかの適性を評価します。

3 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合 計
医 学 科	大学入学 共通テスト	200	100		200	200	200	—	—	900
	個別学力検査等	—	—		—	—	—	100	250	350

注 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング 100 点、リスニング 100 点をリーディング 150 点、リスニング 50 点の 200 点満点に換算します。リスニングを免除された場合は、リーディング 100 点を 200 点満点に換算します。

4 個別学力検査等の期日及び実施場所

(1) 期日・時間割

令和 4 年 3 月 22 日（火） ※時間割等については、対象者に別途通知します。

(2) 実施場所

浜松医科大学 看護学科棟 （浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号）

5 合格発表

令和 4 年 3 月 26 日（土）（予定）

本学講義実習棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、本学ホームページ上でも合格者の受験番号を掲示します。

（URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>）

なお、電話等による照会には、一切応じません。

Ⅵ 入学手続

入学手続書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

合格者は、入学手続書類を次の入学手続期間内に必着するよう書留速達で送付してください。

入学手続完了後、提出書類及び入学料は返還できません。

1 入学手続期間

(1) 前期日程

令和 4 年 3 月 10 日（木）から令和 4 年 3 月 15 日（火）まで（大学必着）

(2) 後期日程

令和 4 年 3 月 23 日（水）から令和 4 年 3 月 26 日（土）まで（大学必着）

(3) 追試験

令和 4 年 3 月 26 日（土）から令和 4 年 3 月 30 日（水）まで（大学必着）

2 納付金

入 学 料 282,000 円（令和 3 年度実績）

授 業 料 前期分 267,900 円（令和 3 年度実績）
（年 額） 535,800 円（令和 3 年度実績）

授業料は、入学後に納付していただきます。

納付金の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。

Ⅶ 静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要について

静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を前提とする場合の出願区分です。

地域枠入学者には、卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」が適用され、卒業後9年間、県が指定する公的医療機関等で臨床研修及び診療業務に当たることにより、貸与を受けた静岡県医学修学研修資金の返還が免除されます。

※「静岡県キャリア形成プログラム」については、次ページを参照してください。

1 対象者要件

浜松医科大学の学校推薦型選抜又は一般選抜募集要項に示す出願資格のうち「地域枠」に該当する者。

2 提出書類

出願時に、「Ⅰ 3 出願書類等」（2ページ）に示す出願書類（静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書を含む）を提出。

3 修学資金貸与額

年間240万円（1年分を3期に分け、貸与されます。） ※総額1,440万円

4 貸与期間

6年間

5 貸与条件

- （1）静岡県内の地域医療に貢献したいという意志を持ち、卒業後9年間は静岡県の指定する「静岡県キャリア形成プログラム」に沿って卒後臨床研修及び診療業務に従事すること。
 - （2）従事期間（9年間）のうち4年間は、医師少数区域にある病院に勤務すること。
 - ・「医師少数区域」は、将来勤務することになる時点の状況に応じて、静岡県保健医療計画に記載されます。
 - ・貸与期間中に、静岡県医学修学研修資金貸与を辞退することは、原則として認められません。
- また、留年した場合には、留年に係る期間は貸与を受けることができません。

6 返還免除の条件

以下の（1）～（3）の要件をすべて満たしたときに、貸与した静岡県医学修学研修資金全額の返還が免除されます。

- （1）大学卒業後、2年以内に医師免許の登録を完了すること。
 - （2）医師免許の登録後、直ちに、初期臨床研修を開始すること。
 - （3）本人の意向を聴取し、大学と協議した上で「静岡県キャリア形成プログラム」に基づき9年間、静岡県の指定する医療機関で勤務すること。
- ※但し、貸与条件を満たさなかった場合には、貸与を受けた静岡県医学修学研修資金に利息（年利10%）を付して、一括で返還することとなります。
- ※6年間貸与を受けた場合の利息額はおよそ450万円程度です。

7 貸付手続

入学後の手続となります。なお、貸付には連帯保証人が2人必要です。応募にあたっては、連帯保証人予定者をあらかじめ決めておいてください。（連帯保証人2名は別に独立して生計を営む者、申請者が未成年の場合、1名は親権者）

静岡県キャリア形成プログラム（基本プログラム）

①～③のいずれのコースについても、以下を要件とする。

- 臨床研修は、県内病院で行う。
- 専門研修は、県内病院が基幹となるプログラムにて実施する。
- ②・③の計7年間のうち4年間は、医師少数区域にある病院に勤務する。（要件の詳細は各コース参照）
- 県内の大学病院（本院、本院以外の病院を問わず）に勤務する期間は最長5年間とする。

注 キャリア形成プログラムの内容は、今後、専門研修の在り方等の変化などにより修正される場合があります。必ずふじのくに地域医療支援センター「静岡県キャリア形成プログラム」URL (<https://fujinokuni-doctor.jp/careerpro.html>) をご確認ください。

① 専門コース

（サブスペシャリティ領域の専門研修まで行い、将来は地域の中核的な病院で指導的立場として勤務することを目指すコース）

臨床研修	専門研修① 基本領域	専門研修② サブスペシャリティ領域	【義務年限修了後】 必要に応じて 専門研修を継続
① 2年	② 3～4年	③ (9-①-②)年	
← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →			

※ ②・③の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（基本領域、サブスペシャリティ領域）の基幹施設または連携施設とする。

② 基本コース

（サブスペシャリティ領域がない診療科またはサブスペシャリティ領域がある診療科で基本領域までの専門医資格取得を目指し*、地域医療への従事を目指すコース）

* 内科で基本領域のみの専門医資格取得を目指す場合は③地域密着型コースとなる。

臨床研修	専門研修 基本領域	県内病院勤務	【義務年限修了後】 特に規定なし
① 2年	② 3～5年*	③ (9-①-②)年	
← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →			

※ ②の最長は皮膚科の5年（サブスペシャリティ領域なし）、他の18領域は3～4年

※ ②の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（基本領域）の基幹施設または連携施設とする。

③ 地域密着型コース

（基本領域のうち内科または総合診療科の専門医資格取得を目指し、へき地等に位置する病院・診療所*を含む、より地域に密着した医療（家庭医等）への従事を目指すコース）

※ へき地等に位置する医療機関：静岡県保健医療計画 第6章 第3節の「3 へき地の医療」に記載された「へき地病院・へき地診療所」、「準へき地病院」等

臨床研修	専門研修 基本領域	県内病院勤務	【義務年限修了後】 特に規定なし
① 2年	② 3年	③ 4年	
← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →			

※ ②の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（内科、総合診療科）の基幹施設または連携施設とする。

[参考資料] 静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書

この「静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書」は、地域枠での出願時に提出が必要です。

静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書

浜松医科大学長 殿

私は、将来、静岡県の医療に貢献する強い意志を持ち、浜松医科大学に入学した際には、静岡県医学修学研修資金の貸与を6年間受けることを誓約します。

令和 年 月 日

受験者 住 所

氏 名 印

生年月日 年 月 日生

浜松医科大学長 殿

私は、上記受験者が、浜松医科大学に入学した際には、上記のとおり誓約することを確認しました。

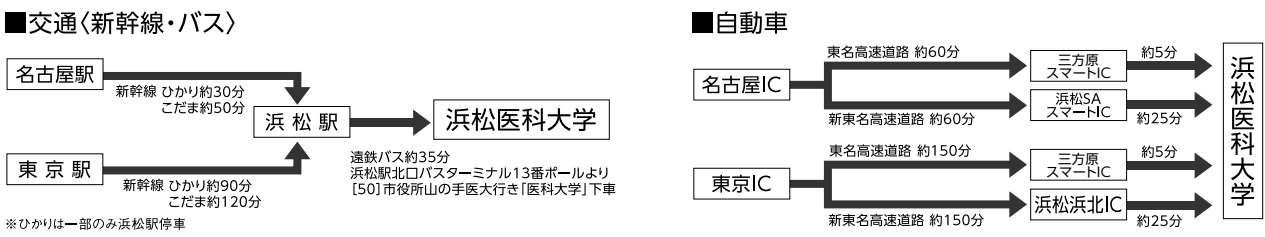
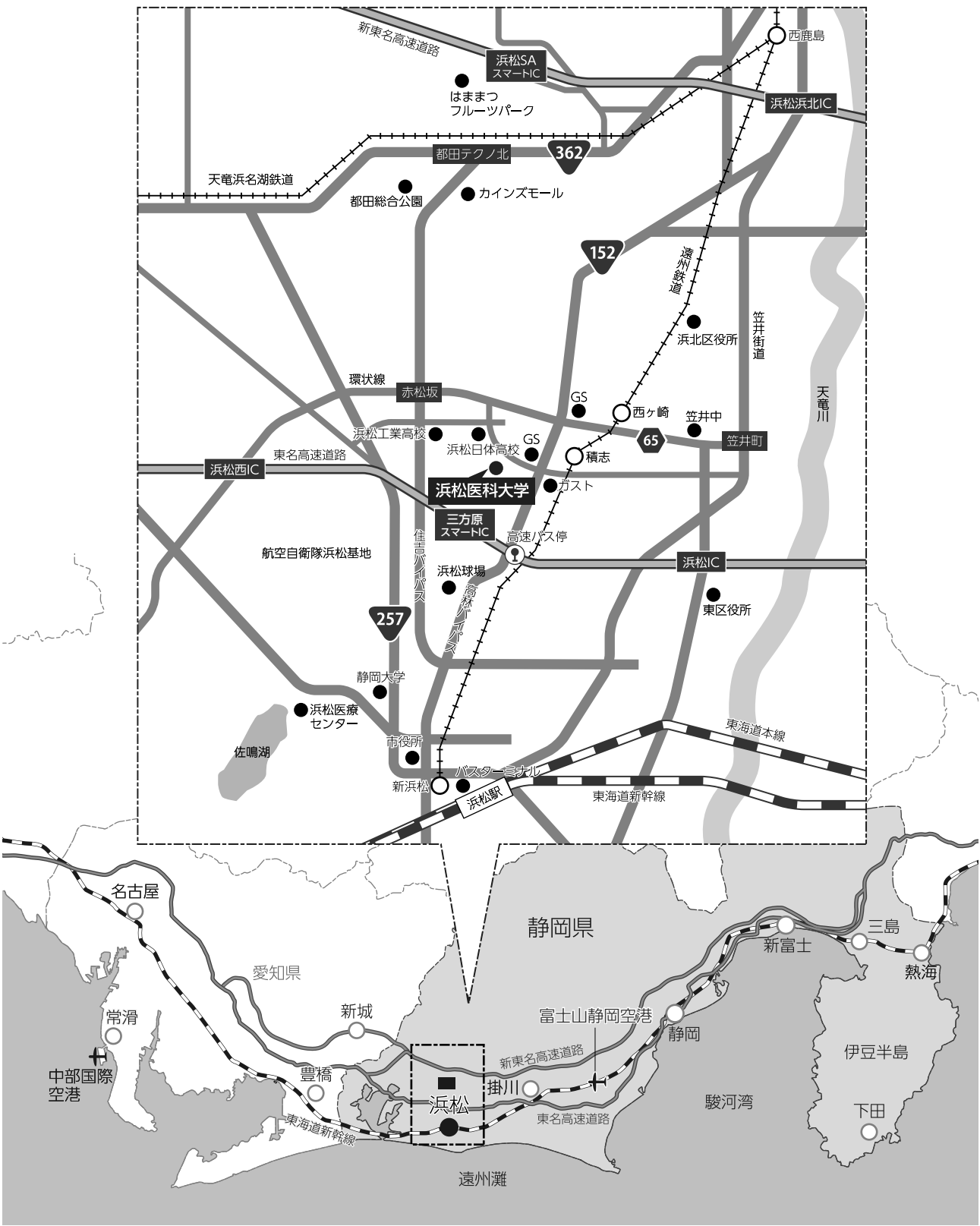
令和 年 月 日

保証人 住 所

氏 名 印

本人との続柄

浜松医科大学位置図



令和4年度

学校推薦型選抜学生募集要項

医学部
医学科
看護学科

学校推薦型選抜は Web 出願にて行います。



目次

I 出願手続 1

1 出願書類等受付期間 1

2 出願方法 1

3 出願書類等 2

4 出願書類等の提出先及び照会先 3

5 出願上の注意 3

< 共通事項 >

II 身体に障害を有する入学志願者との事前相談 4

III 入学手続及び奨学金等 4

1 入学手続期間 4

2 納付金 4

3 高等教育の修学支援新制度について 4

4 留意事項 4

IV 個別学力検査等結果の情報提供 5

V 個人情報の取扱い 5

VI 令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの配点について 5

【医学科】

医学部医学科アドミッション・ポリシー 8

令和4年度入学者選抜における入試方法の変更点について 10

医学科学学校推薦型選抜募集要項

I 募 集 人 員 11

II 出 願 資 格 11

III 推 薦 人 員 12

IV 推 薦 の 要 件 12

V 選 抜 方 法 13

VI 学力検査等の期日、時間割及び実施場所 13

VII 合 格 発 表 13

VIII 入 学 手 続 14

IX 学校推薦型選抜出願者の一般選抜での受験 14

X 静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要について 15

【看護学科】

医学部看護学科アドミッション・ポリシー 20

看護学科学学校推薦型選抜募集要項

I 募 集 人 員 22

II 出 願 資 格 22

III 推 薦 人 員 22

IV 推 薦 の 要 件 22

V 選 抜 方 法 23

VI 学力検査等の期日、時間割及び実施場所 23

VII 合 格 発 表 23

VIII 入 学 手 続 24

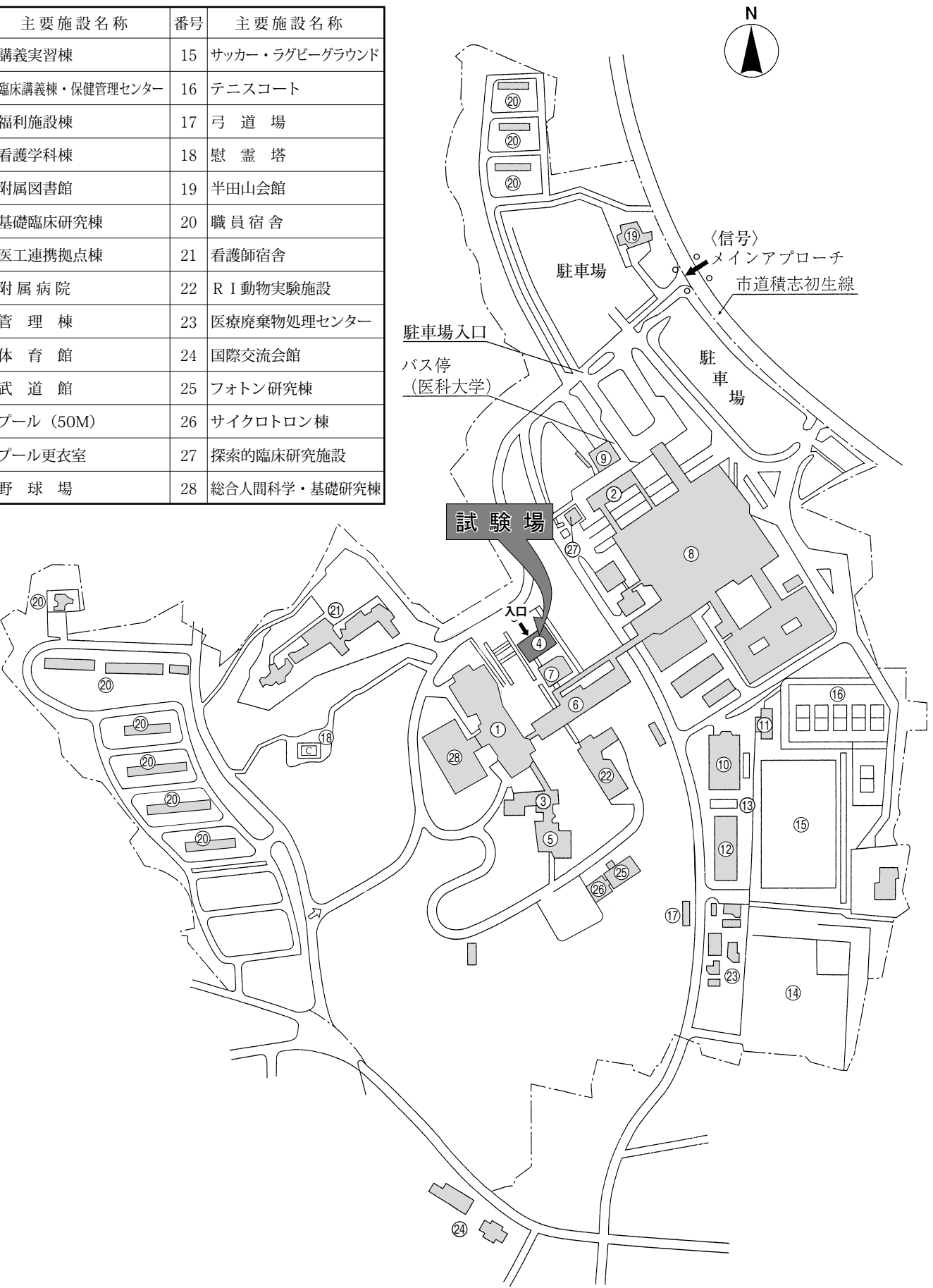
IX 学校推薦型選抜出願者の一般選抜での受験 24

X 浜松医科大学看護学科学生に対する奨学金制度 24

災害救助法の適用地域で被災された方々の入学検定料の免除について 25

キャンパス案内

番号	主要施設名称	番号	主要施設名称
1	講義実習棟	15	サッカー・ラグビーグラウンド
2	臨床講義棟・保健管理センター	16	テニスコート
3	福利施設棟	17	弓 道 場
4	看護学科棟	18	慰 霊 塔
5	附属図書館	19	半田山会館
6	基礎臨床研究棟	20	職 員 宿 舎
7	医工連携拠点棟	21	看護師宿舎
8	附 属 病 院	22	R I 動物実験施設
9	管 理 棟	23	医療廃棄物処理センター
10	体 育 館	24	国際交流会館
11	武 道 館	25	フォトン研究棟
12	プール（50M）	26	サイクロترون棟
13	プール更衣室	27	探索的臨床研究施設
14	野 球 場	28	総合人間科学・基礎研究棟



令和4年度入学選抜における入試方法の変更点について

【変更内容】出願区分の名称変更

学校推薦型選抜及び一般選抜の出願区分の名称を下記のとおり変更します。

※出願資格、選抜方法等は変更ありません。

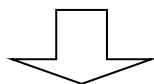
「地域医療枠」 → 「地域枠」

【変更内容】募集人員の変更

募集人員を下表のとおり変更する予定です。

【変更前】

入試区分		一般枠	地域医療枠	計
一般選抜	前期日程	64	11	75
	後期日程	15	0	15
学校推薦型選抜		21	4	25
合計		100	15	115



【変更後】

入試区分		一般枠	地域枠	計
一般選抜	前期日程	68	7	75
	後期日程	14	1	15
学校推薦型選抜		18	7	25
合計		100	15	115

※募集人員は、国及び静岡県医師確保対策の計画等により変更になる可能性があります。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

令和4年度学校推薦型選抜学生募集要項

医学部医学科

I 募集人員

医学部医学科の出願区分には次の2種類を設定し、いずれで出願しても同一の選抜方法により実施します。

① 一般枠

医師や医学研究者等を目指す一般的な出願区分です。静岡県医学修学研修資金の貸与を前提としません。

② 地域枠

静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を前提とする場合の出願区分です。卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒後臨床研修及び診療業務への従事をしていただくことになります。

入試区分	募集人員			備考
	一般枠	地域枠	合計	
学校推薦型選抜	18名	7名	25名	学校推薦型選抜の地域枠の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員分は一般選抜前期日程の地域枠募集人員に加えます。

※ 募集人員には、海外教育プログラム特別入試 若干名を含みます。

※ 募集人員は、国及び静岡県の医師確保対策の計画等により変更になる可能性があります。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

注 1 学校推薦型選抜の地域枠の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員分は一般選抜前期日程の地域枠募集人員に加えます。

2 地域枠の出願者であっても、成績によっては一般枠としての合格となることがあります。その場合は、合格通知の際に別途お知らせします。

3 地域枠において成績が水準に満たない場合には、地域枠の定員が満たない場合があります。

II 出願資格

いずれの出願区分も、出願者の出身地及び出身高等学校等所在地による制限はありません。

【一般枠】

高等学校（日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を含みます。以下同じ。）若しくは中等教育学校（以下「高等学校」という。）を令和4年3月卒業見込みの人〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する人）により令和3年度途中で高等学校を卒業した人を含みます。〕で、令和4年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、かつ、「IV 推薦の要件」のすべての要件を満たす人。

学科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			
医 学 科	国　　語	『国語』		5 教 科 7 科 目
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治経済」、 「倫理・政治経済」 } から1科目		
	公　　民			
	数　　学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』		
	理　　科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目		
	外　国　語	『英語』（リスニングを含む。）		

注 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

【地域枠】

【一般枠】に加え、次に該当する者

静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を受け、卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒後臨床研修及び診療業務への従事が確約できる人。

静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要については15ページ、静岡県キャリア形成プログラムについては16ページを参照してください。

※静岡県医学修学資金貸与制度の詳細は、ふじのくに地域医療支援センターホームページ（下記）を参照又は下記問合せ先にご連絡ください。

(<https://fujinokuni-doctor.jp/igakuse/shogakukin-gaiyou.html>)

《静岡県医学修学研修資金貸与制度に関する問合せ先》

〒420-8601 静岡県静岡市葵区迫手町9-6

静岡県健康福祉部地域医療課医療確保班

TEL：054（221）2868 E-mail:chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

Ⅲ 推薦人員

学校長が推薦できる人数は、**1校につき5名以内**とします。

Ⅳ 推薦の要件

- (1) 本学医学部医学科のアドミッション・ポリシーに該当する人
- (2) 高等学校における調査書の学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が5.0～4.3）に属し、人物が優秀、健康であり、学校長が責任をもって推薦できる人
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる人

出願手続については、募集要項1ページをご確認ください。

V 選抜方法

- (1) 大学入学共通テスト、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
また、本学個別試験において、いずれかの成績が著しく悪い場合は不合格とすることがあります。

(2) 配点

区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	適性検査	面接	合 計
大学入学 共通テスト (注)	200	100	200	200	200	—	—	—	900点
個別試験	—	—	—	—	—	100	300	150	550点

(注) 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング 100 点、リスニング 100 点をリーディング 150 点、リスニング 50 点の 200 点満点に換算します。リスニングを免除された場合は、リーディング 200 点満点とします。

VI 学力検査等の期日、時間割及び実施場所

(1) 期日・時間割

期 日	時 間	実施項目	備考
令和 4 年 2 月 5 日（土）	9:30 ～ 11:30	適性検査	問題を発見し、これを理解して発展させ、論理的解決に導く能力を見るものです。それには、自然科学の素養等が含まれます。
	13:00 ～ 14:20	小 論 文	主として物事の判断、論理的思考、解決等の能力を評価するものです。
令和 4 年 2 月 6 日（日）	9:30 ～ 12:00	面 接	面接とプレゼンテーションにより、将来、医学・医療に従事する人として活躍できるかどうかの適性を評価します。
	13:00 ～ 17:00		

(2) 実施場所

浜松医科大学看護学科棟（浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号）

(3) 留意事項

- ア 面接試験における集合時刻については、各人で相違するため別途通知します。
- イ 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。
- ウ 定期運行している交通機関の事故等により、各試験で定められた集合時間に間に合わない場合は、直ちに、浜松医科大学入試課（電話 053-435-2205、2216）に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。
- エ 試験開始時刻から 30 分以上の遅刻者の受験は認められません。
なお、上記ウによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。

VII 合格発表

令和 4 年 2 月 15 日（火）17 時（予定）

本学講義実習棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、令和 4 年 2 月 15 日（火）以降に速達郵便で結果を通知します。

また、本学ホームページ上でも合格者の受験番号を掲示します。

(URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>)

なお、電話等による照会には一切応じません。

医学科

Ⅷ 入学手続

入学手続書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

合格者は、入学手続書類を次の入学手続期間内に必着するよう「書留速達」で入学手続きを行ってください。

入学手続完了後、提出書類及び入学料は返還できません。

(1) 入学手続期間

令和4年2月16日（水）から令和4年2月21日（月）17時まで（大学必着）

(2) 納付金

入 学 料 282,000 円（令和3年度実績）

授 業 料 前期分 267,900 円（令和3年度実績）

(年 額) 535,800 円（令和3年度実績）

授業料は入学後に納付していただきます。

納付金の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。

Ⅸ 学校推薦型選抜出願者の一般選抜での受験

(1) 大学が定める大学入学共通テストの教科・科目を受験した人に限り、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。

(2) 本学の一般選抜を受験しようとする場合は、次の(3)に定める大学入学共通テストの教科・科目を受験した人に限り可能です。その他の詳細については、「令和4年度浜松医科大学一般選抜学生募集要項」（令和3年10月下旬に発表する予定）を参照してください。

ただし、出願期間は学校推薦型選抜合格発表より前になりますのでご注意ください。

(3) 本学の一般選抜にかかる大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
医 学 科	国　　語	『国語』	
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治経済」、 「倫理・政治経済」 } から1科目	
	公　　民		
	数　　学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	
	理　　科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目	
	外　国　語	『英語』（リスニングを含む。）	

注 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

X 静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要について

静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を前提とする場合の出願区分です。

地域枠入学者には、卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」が適用され、卒業後9年間、県が指定する公的医療機関等で臨床研修及び診療業務に当たることにより、貸与を受けた静岡県医学修学研修資金の返還が免除されます。

※「静岡県キャリア形成プログラム」については、次ページを参照してください。

1 対象者要件

浜松医科大学の学校推薦型選抜又は一般選抜募集要項に示す出願資格のうち「地域枠」に該当する者。

2 提出書類

出願時に、「I 3 出願書類等」（2ページ）に示す出願書類（静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書を含む）を提出。

3 修学資金貸与額

年間240万円（1年分を3期に分け、貸与されます。） ※総額1,440万円

4 貸与期間

6年間

5 貸与条件

（1）静岡県内の地域医療に貢献したいという意志を持ち、卒業後9年間（貸与期間の1.5倍の期間）を静岡県の指定する「静岡県キャリア形成プログラム」に沿って卒後臨床研修及び診療業務に従事すること。

（2）従事期間（9年間）のうち4年間は、医師少数区域にある病院に勤務すること。

・「医師少数区域」は、将来勤務することになる時点の状況に応じて、静岡県保健医療計画に記載されます。

・貸与期間中に、静岡県医学修学研修資金貸与を辞退することは、原則として認められません。また、留年した場合には、留年に係る期間は貸与を受けることができません。

6 返還免除の条件

以下の（1）～（3）の要件をすべて満たしたときに、貸与した静岡県医学修学研修資金全額の返還が免除されます。

（1）大学卒業後、2年以内に医師免許の登録を完了すること。

（2）医師免許の登録後、直ちに、初期臨床研修を開始すること。

（3）本人の意向を聴取し、大学と協議した上で「静岡県キャリア形成プログラム」に基づき9年間、静岡県の指定する医療機関で勤務すること。

※但し、貸与条件を満たさなかった場合には、貸与を受けた静岡県医学修学研修資金に利息（年利10%）を付して、一括で返還することとなります。

※6年間貸与を受けた場合の利息額はおよそ450万円程度です。

7 貸付手続

入学後の手続となります。なお、貸付には連帯保証人が2人必要です。応募にあたっては、連帯保証人予定者をあらかじめ決めておいてください。（連帯保証人2名は別に独立して生計を営む者、申請者が未成年の場合、1名は親権者）

静岡県キャリア形成プログラム（基本プログラム）

①～③のいずれのコースについても、以下を要件とする。

- ・ 臨床研修は、県内病院で行う。
- ・ 専門研修は、県内病院が基幹となるプログラムにて実施する。
- ・ ②・③の計7年間のうち4年間は、医師少数区域にある病院に勤務する。（要件の詳細は各コース参照）
- ・ 県内の大学病院（本院、本院以外の病院を問わず）に勤務する期間は最長5年間とする。

注）キャリア形成プログラムの内容は、今後、専門研修の在り方等の変化などにより修正される場合があります。必ずふじのくに地域医療支援センター「静岡県キャリア形成プログラム」

URL（<https://fujinokuni-doctor.jp/careerpro.html>）をご確認ください。

① 専門コース

（サブスペシャリティ領域の専門研修まで行い、将来は地域の中核的な病院で指導的立場として勤務することを目指すコース）

臨床研修	専門研修① 基本領域	専門研修② サブスペシャリティ領域	【義務年限修了後】 必要に応じて 専門研修を継続
① 2年	② 3～4年	③（9-①-②）年	
← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →			

※ ②・③の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（基本領域、サブスペシャリティ領域）の基幹施設または連携施設とする。

② 基本コース

（サブスペシャリティ領域がない診療科またはサブスペシャリティ領域がある診療科で基本領域までの専門医資格取得を目指し*、地域医療への従事を目指すコース）

* 内科で基本領域のみの専門医資格取得を目指す場合は③地域密着型コースとなる。

臨床研修	専門研修 基本領域	県内病院勤務	【義務年限修了後】 特に規定なし
① 2年	② 3～5年*	③（9-①-②）年	
← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →			

※ ②の最長は皮膚科の5年（サブスペシャリティ領域なし）、他の18領域は3～4年

※ ②の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（基本領域）の基幹施設または連携施設とする。

③ 地域密着型コース

（基本領域のうち内科または総合診療科の専門医資格取得を目指し、へき地等に位置する病院・診療所*を含む、より地域に密着した医療（家庭医等）への従事を目指すコース）

※ へき地等に位置する医療機関：静岡県保健医療計画 第6章 第3節の「3 へき地の医療」に記載された「へき地病院・へき地診療所」、「準へき地病院」等

臨床研修	専門研修 基本領域	県内病院勤務	【義務年限修了後】 特に規定なし
① 2年	② 3年	③ 4年	
← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →			

※ ②の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（内科、総合診療科）の基幹施設または連携施設とする。

[参考資料] 静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書

※この「静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書」は、地域枠での出願時に提出が必要です。

静岡県医学修学研修資金貸与誓約・確認書

浜松医科大学長 殿

私は、将来、静岡県の医療に貢献する強い意志を持ち、浜松医科大学に入学した際には、静岡県医学修学研修資金の貸与を6年間受けることを誓約します。

令和 年 月 日

受験者 住 所

氏 名

印

生年月日

年 月 日生

浜松医科大学長 殿

私は、上記受験者が、浜松医科大学に入学した際には、上記のとおり誓約することを確認しました。

令和 年 月 日

保証人 住 所

氏 名

印

本人との続柄

2022 Campus Guide
**Hamamatsu
University
School of
Medicine**



建学の理念

第1に優れた臨床医と

独創力に富む研究者を養成し、

第2に独創的研究並びに

新しい医療技術の開発を推進し、

第3に患者第一主義の診療を実践して

地域医療の中核的役割を果たし、

以て人類の健康と福祉に貢献する。

CONTENTS	学長あいさつ	3
	浜松医科大学の特色	7
	スマート・ライブラリ紹介	9
	医学部医学科	11
	医学部看護学科	17
	大学院医学系研究科医学専攻	23
	大学院光医工学共同専攻	23
	大学院医学系専攻科看護学専攻	24
	在学生インタビュー	25
	国際交流	27
S	サークル紹介	29
	学生メッセージ	33
	よくある質問	35
	入学者選抜試験実施状況	37
	学費および奨学金	39
	学生募集要項等の請求方法	40
	キャンパスマップ	41



優れた医療人を育て、独創的な医学・看護学研究の成果を挙げている浜松医科大学

皆さんは新型コロナウイルス感染症の終息への道筋がまだ見えない中で、不安な日々を過ごしていることでしょう。勉強だけではなく、クラブ活動も学校行事も満足に実施できず、まるで自分たちの大切な時間が奪われてしまった様な気持ちになっていることと思います。今回のコロナ禍に遭遇してしまった小、中、高校生、特に既卒生を含めた受験生の皆さんはわが身の不運を嘆いているかもしれませんが、医療人を目指している若い皆さんの長い人生において、この経験は必ず役に立ちます。前向きな気持ちを失わず、不断の努力を続けて下さい。そんな皆さんを浜松医大として心から歓迎します。



国立大学法人浜松医科大学長
今野 弘之

浜松医大の現況

浜松医大は開学47年になりますが、卒業生は昨年度までに医学科4,284名、看護学科1,563名に達し、卒業生は地域医療のみならず、全国の医療の現場や研究分野、行政関係等多方面で活躍しており、他大学の教授、日本医師会、中央官庁等、日本の医療・看護の中枢で仕事をしている卒業生も少なくありません。私は7代目の学長として6年目を迎えていますが、就任時より運営の指針を浜松医大の「建学の理念」に置いています。「優れた臨床医の育成、独創的研究と新たな医療機器・技術の開発、患者第一主義の医療の実践」と謳い、最後に「人類の健康と福祉に貢献する」と結んでおり、半世紀経た現在でも聊かも揺らぐことのない、私たちの羅針盤です。

医療人を目指す皆さんにとって最初の関門となる入学試験では、「記憶力」から「論理的思考力、判断力、表現力」へという国の方向性を先取りした改革を進めてきました。具体的には、センター試験

重視から個別学力試験重視へと変換(医学科)し、面接時にプレゼンテーションを取り入れるなど、論理的思考力や発想が豊かで、何より医療人になりたいという強い気持ちを持つ方に入学して頂くための改革を進めてきました。

入学後の教育について説明しましょう。医学、看護学の修学に必要な第一の資質は基礎となる知識・技術を習得することであることは論を俟ちません。ただ、それだけでは不十分で、基本的知識・技術習得を前提として、自ら学ぶ姿勢を常態化することが求められます。現代の医療、看護に関する情報量は膨大で、全てを大学で修学することはできず、しかもその情報量は数か月で倍になるとも言われています。従って自ら修学することは学生時代だけではなく医療人として生涯に渡り必須な要件と言えます。さらに、実際の医療や看護では日々新たな課題や問題が生じます。この状況に対応するためには、課題を抽出し、解決のために情報を収集し、解決への道を見つけ

る能力が求められます。これが問題解決能力です。

また、医療人として最も重要な資質は豊かな人間性や倫理観、患者さんに対する共感力、そしてコミュニケーション力等、内的な「豊かさ」です。そのための教学改革を進めていますが、今年度(令和3年度)から新たなカリキュラムに基き、低学年で終了していた倫理学、心理学等の行動科学を6年間全体で修学してもらいます。基礎医学でも、臨床医学でも倫理的な視点、心理学的考察は重要ですので、行動科学の教授陣に、臨床医学のカリキュラムにも関与して頂くことにしました。現代はチーム医療の時代ですので、患者中心の医療・看護をチームの一員として実施するためには、患者さんだけではなくチームの仲間とも適切なコミュニケーションを取る必要があります。新たなカリキュラムではこの点も重視しています。

また、医療人はサイエンティストとしての視点、つまり客観的な事実を把握し、重視する姿勢、言葉を替えれば、科学

的知見を尊重する考え方が不可欠です。私たちは、データサイエンスや基礎配属など科学的に物事を見る態度やそのために必要な科学的な探究心を皆さんに育んでもらうためのカリキュラムも用意しています。

さらに、国際的な視野の涵養、特に文化、人種、地域等の多様性を理解し、寛容であることが医療人に求められています。そのためには海外の人たちともコミュニケーションをとる必要がありますが、コミュニケーションツールとして英語力が欠かせません。本学では、医学科・看護学科の全学生に国際コミュニケーション英語能力テスト(TOEIC)を受験する機会を提供していますが、平成31年から国際教育、国際情報発信及び国際的学术交流を全学的連携によって推進することを目的とし、「国際化推進センター」を設置しました。グローバルな時代の医療人として必須と言える実践的英語能力涵養のため、ランチミーティング、イングリッシュカフェなど留学生との交流の機会も設

けています。さらに令和3年度から初年次のe-learningから医学英語、臨床における英語によるプレゼンテーション力の向上など、卒業時に英語で医学・医療の討論ができる医学生を育成するカリキュラムを構築しました(医学科)。加えて、海外で臨床実習を希望する学生が次第に増えていますが、海外からの学生、大学院生も同様に増加しており、相互交流による学生の国際人としての資質向上と国際研究の活性化も図っています。

看護科の教育体制も充実を図っています。令和3年度に修士課程看護学専攻において老年看護の専門看護師養成コースを開設し、令和4年度には精神看護の専門看護師養成コースを併設し、さらに看護学博士課程も開設する予定です。医療の現場における看護の重要性は日々増しており、専門化、高度化による質の高い医療の実践が可能となります。このような時代の変化を先取りし、専門性の追求や高度な人材育成を目指した教育を推進していきます。

さらに、学生の自律的学習を支える図書館「スマート・ライブラリ」が令和2年度に完成し、多様な学修スペース、情報・コミュニケーション機器、電子書籍を備えたSociety5.0型図書館を開設しました。医学・看護学書を中心とした収集を行うとともに、ICT化により世界と繋がり、双方向対話学修及び国際感覚・コミュニケーション能力向上を支援し、多様性への寛容が生まれる場を提供しています。是非一度見学に来てください。

本学は「光医学研究」に早くから取り組み、基礎的な研究と医療への応用を迫及し高い評価を受けてきました。平成28年から光先端医学教育研究センターを設置し、「分子から個体」までのシームレスなイメージング・コンプレックス体制の下で、多くの研究成果を挙げています。平成30年度からは、光医学を基盤とした医工連携分野に精通した光医工学の高度専門人材の育成を目的として、静岡大学工学部と共に大学院博士後期課程（光医工学共同専攻）を設置し、今年度初めての修了生を送り出すことができました。

また、産業界と一緒に新たな医療機器やシステムの開発を行う事業、産学官連携

も本学の「強み」の一つです。昨年度から、「産学連携・知財活用推進センター」を設置し、大学間、行政、金融、基幹病院との連携を強化しています。産学連携・知財活用推進センターでは、産学官連携の推進とともに、大学発ベンチャー企業の支援に取り組んでいます。さらに、新たな研究シーズの発掘や探索を目的として、独創的、先進的、国際的研究を支援しています。

本学附属病院は患者さんの状態に対応した治療を実施できる体制を強化し、地域の医療機関、医師会、行政等と密接に連携しながら、地域医療における最強で最後の砦として高度な医療を安全に提供しています。コロナ禍においても本学附属病院は一度も診療を中断することなく、Covid—19感染症に立ち向かう一方で、クラスターが発生した医療機関に支援のためにDMAT等を派遣し、各医療施設から感謝されています。

また、本学の教育連携病院である浜松医療センターとは、学生の教育のみならず、オンラインでの症例カンファレンスを開催するなど、医療の一体化を進めています。医療センターを初め地域の医療機関との連

携を深め、地域社会のニーズと個々の病院機能に応じた地域医療ネットワークの構築を目指しています。

また、新専門医制度の本学プログラムの参加者は県全体の6割強を占めており、「卒後教育センター」が主体となって、研修医と専攻医の支援を一層充実させ、卒後教育の質向上に取り組んでいます。加えて、専門・認定看護師の養成も、看護学科と看護部が連携して進めています。近年、本学看護学科卒業生が本学附属病院に就職する傾向が強まっており、今年（令和2年度）の卒業生の5割以上が本学附属病院で活躍しています。

静岡県全体の医療においても本学は主導的な役割を担っています。既に静岡県の勤務医の約3割を浜松医大卒業生等、医局関係者が占めており、600床以上の大病院3施設を含め、30人近い病院長を輩出しています。そのほかにも、県医師会理事や市町の医師会長、県や市町の医療行政の幹部等、多職域で浜松医大関係者が活躍しています。最近は医学部卒業生の60%以上が県内に残っており、全国的にも地元定着率が極めて高い大学です。

経営状況は極めて良好で、高度で安全な医療を提供するという使命を十全に果たしながら、手術件数など多くの指標が国立大学の中でもトップランクに位置しています。本学ではここ数年、種々の新築、改築のための工事が続っていますが、今年度内の竣工に向けて医療機能強化棟の工事も順調に行われています。最近の手術数増加に対応するために手術室を増設する必要があること、最新の放射線治療のための移設、さらには化学療法センター、光学医療診療部、NICU（新生児特定集中治療室）、GCU（新生児回復期治療室）の業務拡大に対応することを目的としています。

注目されている静岡大学と大学の再編を伴う新法人設立は、いろいろな困難を乗り越えながら新大学設立を目指して、関係者が力を合わせて努力しています。Society5.0における医学、工学、情報学はまさにベストマッチであり、学部の垣根を超えた新たな分野を開拓できる可能性を秘めています。今回のコロナ禍で露呈したように、我が国の情報基盤やIT化、デジタル管理等は、欧米諸国のみならず中国や韓国と比べても周回遅れの観があります。



す。国全体が、大きく社会制度、組織の改革を進める必要がある中で、医・工・情の新たな大学は、特に教育と研究面で世界に発信できる成果を挙げることがあり、実際に工学部と浜松医大はこれまで産学連携等で様々なプロジェクトを共同で推進してきました。既述した光医工学共同専攻の共同大学院は、光医工学の未来を担う人材の育成を担っており、本年度初めて終了生を世に送り出しました。Society5.0における医療プラットフォームの構築には情報学の関与が不可欠です。また、産学官連携の強化のため、浜松市や地元企業との協定に加えて、昨年、地元金融機関と新たに包括連携協定を締結し、「産学官金」の体制を整えると共に、医工連携拠点棟が竣工し、オープンイノベーションの「場」が整備されました。新大学設立後はこの拠点

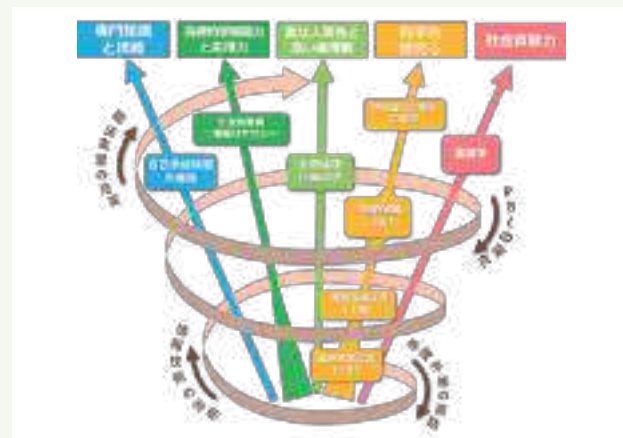
棟をKnowledgeハブとして、産学官金連携がますます加速するものと思います。このような環境下で工学、情報学の視点から医療、医学研究のイノベーションを起こし、Society5.0社会における学部横断的分野や新規開発分野を担う人材の養成が期待されます。

浜松医大は医療、看護、福祉、産学連携の未来を担う医学・看護学の研究者、医療行政の担当者、そして医療、看護の現場で活躍する医師、看護師など、患者さんへの共感力を持った、有能な医療人を育成し、教職員が輝くことで大学も共に発展することを目指しています。

これから益々重要性が増し、世界中の人たちが期待を寄せている医療、看護、福祉、産学連携に興味があり、世の役に立ちたいという意欲を持っている皆さんを心から待っています。

教育 高度な知識と技能を習得し、人間性に優れた国際的な感性を持つ医療人の育成

医学科カリキュラム



倫理観や科学的探究心、英語能力を体系的に涵養する1年次から6年次までの連続した「らせん型カリキュラム」を構築します。

看護学科カリキュラム



優れた看護の専門家を育成するために、医学部看護学科の教育目的・教育目標に基づき、教育課程を編成・実施し、学修成果を評価します。

研究 光を用いた最先端医学研究

光先端医学教育研究センター

イメージングコンプレックス体制
分子～細胞～組織～個体までの多様なイメージング機器を設置・開発し、それらを活用できる人材とノウハウを有している。

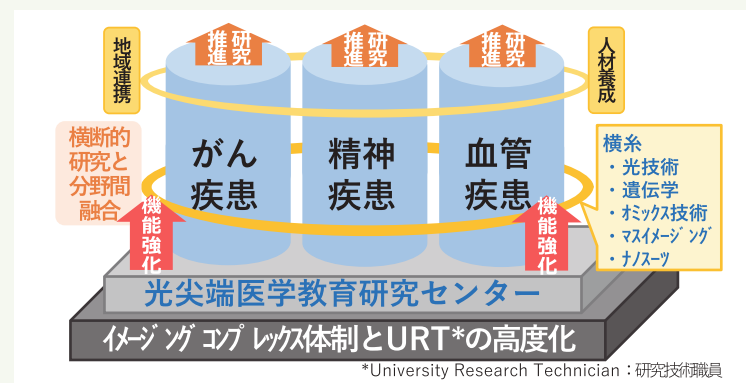


医工連携拠点棟【iMec】



医療と工学技術分野の産・学・官が連携する建物。地元企業との連携を進め、持続的・連鎖的な光技術の具現化を推進する。

光医学教育研究拠点形成事業



診療 最新医療の提供 と 地域の中核病院

da Vinci Xi



手術支援ロボット：
患者さんの負担が少ない低侵襲な手術が可能

ハイブリッド手術室



手術台に血管X線装置を組み合わせた手術室：
心臓血管外科手術等の高度の手術が可能

医療機器の開発

頭部用PET診断装置

動きによるブレを補正することができ、座ったままで撮影が可能



手術ナビゲーションユニット

国産初の内視鏡専用手術ナビゲーション装置の事業化



新規立体内視鏡

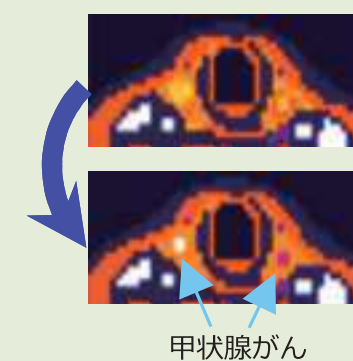
顕微鏡の操作感覚で使用できる新規立体内視鏡



これらを
基盤に
研究・
医療機器
開発を推進

最近の研究

拡散光トモグラフィ(光CT)による腫瘍低酸素症のイメージングによる甲状腺がん診断を目指す。

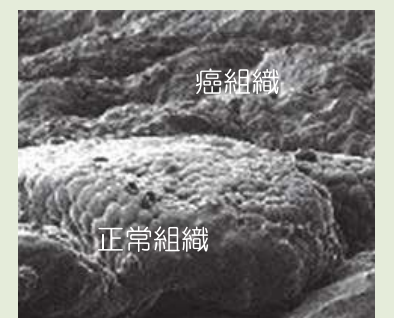


甲状腺がん

自閉症スペクトラム症者及び定型発達者の脳画像計測を実施し、エネルギー代謝に関連したバイオマーカー探索を行う。



ナノスーツ、バイオミメティックス研究では、細胞や生体組織の真の姿を観察し直して、細胞生物学、病理学を再構築する。



癌組織

正常組織

～国際基準の優れた医療人と独創力に富む研究者育成のために～

2020年3月に図書館と福利施設棟の改修工事が完了し、改修後は新たに「スマート・ライブラリ」として生まれ変わりました。「スマート・ライブラリ」とは、ICT機器や情報発信、国際交流のハブ機能を持ったSociety5.0型に図書館のことです。スマホ世代の若者たちのニーズに合った施設となるように、また、24時間快適な環境で学修や研究ができるようにとのコンセプトのもとに計画されました。

省エネや安全にも配慮し、人感センサーによる照明や空調を備え、防犯カメラによる安全確認を行われております。従来の図書館にあった静粛な学習スペースはもちろんのこと、アクティブラーニング、イベント、会議、休息、書店など多くの機能を集めて、キャンパスライフの中心的施設をとして活用されることを期待しています。



■松門会ホールには日本の大学図書館初?のボルダリングウォールが設置され、初級から上級までの6コースがあります。ポップな色彩のホールドは気分も空間も明るくしてくれます。学修や読書に疲れたら、脳のリフレッシュに、肩こり解消に、ボルダリングにチャレンジ!



■本格的な動画撮影が可能なスタジオです。防音設備、ライトや編集機器、記者会見でおなじみの大学のマークが入ったスクリーンなどが設置されています。24時間いつでも都合のいいときに利用することができます。授業の動画や、研究活動、クラブ活動や学生生活の様子など、撮影してガンガン配信しましょう!

■集中したいという方のために、個室を提供しています。ここには、人間工学に基づいて設計されたシステムチェアが導入されていて、自分の研究室にしたいという先生方もいるほど。アクティブラーニングのためのコラボレーションエリアはグループの人数にあわせて、組み合わせ可能な座席や、議論を進めるためのホワイトボード、公開で授業やゼミが可能なコミュニケーションスペースなど整備されています。静粛からみんなでワイワイと用途に応じたエリアがゾーニングされています。



浜松医科大学 附属図書館

○貸出冊数・期間

資料種別	貸出冊数および期間	
	職員・大学生・研究生等	学部学生
図書	5冊以内 21日以内	5冊以内 14日以内
雑誌	5冊以内 3日以内	
AV資料	3点以内 3日以内	

※入退館、資料の貸出には職員証・学生証が必要

■開館時間

月～金曜日	授業期	9:00～20:00
	夏季休業期	9:00～17:00
土・日曜日	授業期	10:00～17:00
	夏季休業期	休館

※学内者は24時間利用可

■休館日

- ・夏季及び冬季休業期間中の土曜日及び日曜日
- ・国民の休日に関する法律に規定する休日
- ・開学記念日(6月7日)
- ・夏季一斉休業日
年末年始(12月29日～1月3日)

■WEB

附属図書館に関する情報は、ホームページでもご覧いただけます。
<https://www.hama-med.ac.jp/lib/index.html>

お問い合わせ
浜松医科大学 学術情報課
メール:lib-lib@hama-med.ac.jp
TEL:053-435-2171



高度で専門的な知識と技術、豊かな人間性を
身につけた臨床医・医学研究者を育成します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医学部医学科では、本学の建学の理念を尊重し、将来、臨床医や医学研究者として社会に貢献できる以下の人材を求めており、志願者の資質と能力を総合的に評価して選抜します。

- 1 医学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人。
- 2 生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人。
- 3 他者への思いやりと協調性、倫理観を有し、社会的規範に基づく行動がとれる人。
- 4 自然科学への好奇心が旺盛で、豊かな創造力と論理的思考能力を有する人。
- 5 国際社会や地域社会の情勢に関心を持ち、社会的要請に応えようとする意欲がある人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

優れた臨床医及び医学研究者を育成するために、医学部医学科の教育目的・教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施し、学修成果を評価します。

- 1 グローバル・スタンダードに準拠した医学教育を行うために、教養教育、基礎医学教育、臨床医学教育を統合したカリキュラムを編成し、体験学習や臨床実習を通じて知識と臨床技能の修得を可能にする。
- 2 自律的学修能力と応用能力を養うために、情報リテラシー教育、人間科学ゼミナール、PBLチュートリアル教育、基礎配属、診療参加型臨床実習、医療推論講習を通じて、問題発見・解決能力、臨床推論能力の向上を図る。
- 3 患者中心の医療を行うために、教養教育、行動科学教育、医療倫理教育、体験学習、診療参加型臨床実習、医療安全教育を通じて、豊かな人間性と高い倫理観を培うとともに、コミュニケーション能力や協調性を育む。
- 4 生命科学教育、基礎医学教育、臨床医学教育、光医学をはじめとする先端医学教育を通じて、深い洞察力和科学的探究心を育成する。
- 5 グローバル化に対応した教育課程を通じて、国際的視野に立って活動できる人材を育成するとともに、社会医学教育や地域医療教育を通じて、地域社会に貢献するための能力を育む。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学部医学科の教育課程において、以下の資質と能力を身につけ、学修目標に達したと認められる者に学士（医学）の学位を授与します。

- 1 専門知識と技能
医学に関する基本的な知識と技能を身につけている。
- 2 自律的学修能力と応用能力
最新の知識を習得する習慣を身につけている。
医学における問題を抽出し、必要な情報を収集・分析して解決策を見出すことができる。
- 3 豊かな人間性と高い倫理観
豊かな人間性、高い倫理観及びコミュニケーション能力を身につけ、患者中心のチーム医療を実践できる。
- 4 科学的探究心
深い洞察力を身につけ、論理的思考ができる。
光医学をはじめとする先端医学の基礎を理解し、その科学的意義を説明できる。
- 5 社会貢献力
国際社会や地域社会に貢献するために必要な資質を身につけている。

カリキュラム概要

※今年度（令和3年度）のカリキュラム概要です。来年度以降変更 する場合があります。

本学附属病院をはじめ、国内外の病院での実習や卒前統合実習を行い、在学中にプロフェッショナルリズム、知識、技術を身につけていきます。特に医療倫理やEBM、行動科学等重要な要素については、6年間掛けて学ばせん型のカリキュラムを構築しています。

総合科学		基礎・社会医学 外国語		臨床医学 外国語		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		臨床医学									
医療経済・社会学 医療人類学 倫理学 哲学 心理行動科学Ⅰ 心理行動科学Ⅱ 法学 医療法学 自然科学入門 数理科学Ⅰ 数理科学Ⅱ 物理科学Ⅰ 物理科学Ⅱ 物理学実験 物質科学Ⅰ 物質科学Ⅱ 化学実験 基礎生物学Ⅰ 基礎生物学Ⅱ 生物学実験		解剖学Ⅰ		分子基礎医学Ⅰ 分子基礎医学Ⅱ 解剖学Ⅱ 生化学 生理学 感染症学・免疫学 病理学 PBL(基礎)		薬理学 健康社会医学 病理学(各論) 基礎配属		放射線医学 腎臓内科学 泌尿器科学 循環器内科学 心臓血管外科学 呼吸器内科学 呼吸器外科学 内分泌・代謝内科学 脳神経外科学 眼科学 耳鼻咽喉科学 神経内科学 精神科学 消化器内科学 消化器外科学 PBL(臨床Ⅰ)		血液内科学 免疫内科学 臨床検査医学 整形外科科学 リハビリテーション医学 皮膚科学 産婦人科学 小児科学 麻酔・集中治療医学 救急災害医学 臨床薬理学 形成外科学 臨床腫瘍学 PBL(臨床Ⅱ)		内科学Ⅰ 内科系Ⅰ 精神神経医学Ⅰ 小児科学Ⅰ 外科学Ⅰ 外科系Ⅰ 脳神経外科学Ⅰ 整形外科科学Ⅰ 泌尿器科学Ⅰ 眼科学Ⅰ 耳鼻咽喉科学Ⅰ 産科婦人科学Ⅰ 放射線医科学Ⅰ 麻酔・集中治療医学Ⅰ 家庭医療学Ⅰ		内科学Ⅱ 精神神経医学Ⅱ 小児科学Ⅱ 外科学Ⅱ 脳神経外科学Ⅱ 整形外科科学Ⅱ リハビリテーション医学Ⅱ 皮膚科学Ⅱ 泌尿器科学Ⅱ 眼科学Ⅱ 耳鼻咽喉科学Ⅱ 産科婦人科学Ⅱ 放射線医学Ⅱ 麻酔・集中治療医学Ⅱ 歯科口腔外科学Ⅱ 救急医学Ⅱ 臨床薬理学Ⅱ 病理診断学Ⅱ 形成外科学Ⅱ 家庭医療学Ⅱ		画像診断学 臨床解剖学 臨床栄養学 シミュレーション メディシン			
基礎教育科目		新入生英語セミナー e-LearningⅠ プレゼンテーションⅠ		e-LearningⅡ プレゼンテーションⅡ 国際サービス・ラーニング		医学英語Ⅰ 医学英語Ⅱ		基礎・社会医学 法医学		医学英語Ⅲ		CBT OSCE		光医学の基礎と臨床応用		総論 医学概論Ⅲ 臨床診断学		総論 総合診療学 老年科学	
データサイエンス 人間科学ゼミナールⅠ 人間科学ゼミナールⅡ		独語Ⅰ 独語Ⅱ 仏語Ⅰ 仏語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ		総論 医学概論Ⅱ														臨床実習後OSCE 卒業試験	
総合科学においては、医療に携わる人間として必要な感性や人間性を養うため幅広い教養を学びます。そして、医学を学ぶうえで重要な自然科学の素養を身につけるために、物理、化学、生物を学習し、基礎学力を養います。				2年次では、それまでに学んだ知識をもとに、人体の構造と機能を理解するための基礎医学が本格的に始まります。特に解剖学実習の系統解剖は、医学生であることを実感できるようになります。				3年次からは基礎医学から順次臨床医学の授業が始まります。ここでは病態の理解、診断と治療の基本を学んでいきます。				4年次では、3年次に引き続いて、臨床における各診療科の知識を身につけていきます。また、本学の特色である光医学に関する科目も開講され、授業の中で、実際に内視鏡などの医療機器の操作体験をします。		5年次では、4年次の1月に引き続いて臨床実習を行います。				6年次では、5年次の1月から引き続いて学生の希望する診療科の臨床実習を行います。また、臨床実習終了後には、実際の診療に即した形の臨床実習後OSCEが実施されます。医学科は一般の大学のような卒業論文はなく、代わりに5年次に行った臨床実習の診療科別卒業試験を行います。	
また、早い時期から医学教育に触れるべく、基礎医学に当たる解剖学の総論、骨学、組織学を学びます。				また後学期に入ると、PBLチュートリアルという形式の授業が行われます。PBLとはProblem-Based Learning の略で、課題に基づくアプローチという意味です。学生がグループで、与えられた症例課題から自分たちが学ばべき事柄を引き出し、理解を深めながら問題を解決していく学習方法です。		後学期には基礎配属の授業が行われます。これは基礎医学教室や学内の研究センターなどで、実際に研究現場に入り研究を体験します。実験、調査に携わることによって、種々の知見や発見がいかにして得られたかを体感することによって、リサーチマインドを身につけます。						後学期から始まる臨床実習に備えて、CBTとOSCEという共用試験が課せられます。CBT(Computer Based Test)とは、コンピューターを使った多肢選択式の試験で、基礎・臨床の知識の総合的理解と問題解決能力を問うものです。OSCE(Objective Structured Clinical Examination)とは、診断の技能や診療態度を評価する実技試験で、ともにこの試験に合格しないと臨床実習に参加することが出来ません。		臨床実習では、臨床チームのメンバーとしてより実際に近い形の実習が、本学附属病院、附属病院以外の病院で行われます。ここでは診療チームの一員として、診療に参加する中でより実際の場に即した実習を行います。5年次の1月から各学生が希望する附属病院の診療科、浜松医療センターなどの関連教育病院や海外の学術交流協定校で実習を行うことが出来ます。					
このほか1年次では、入学してすぐに合宿研修を行い、グループワークによって課題を解決していくことを学びます。また、医師になるという動機付けを早い時期に確立するため、医療の現場に接する「医療福祉施設体験学習」も行います。												4年次の1月からは、実際に患者さんと接する臨床実習が始まります。実習では附属病院や学外病院を1年かけて、すべての診療科をローテーションでまわります。また、地域医療に携わる実習も行われます。							
												この実習では診療科ごとに定められた医療行為の水準と実施項目に基づき、できるだけ診療に参加する形で実地診療を学びます。							
												医学の知識に加え技能や態度・習慣など、医師として基本的なことを実習を通して学びます。							
1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次									

国家試験合格状況

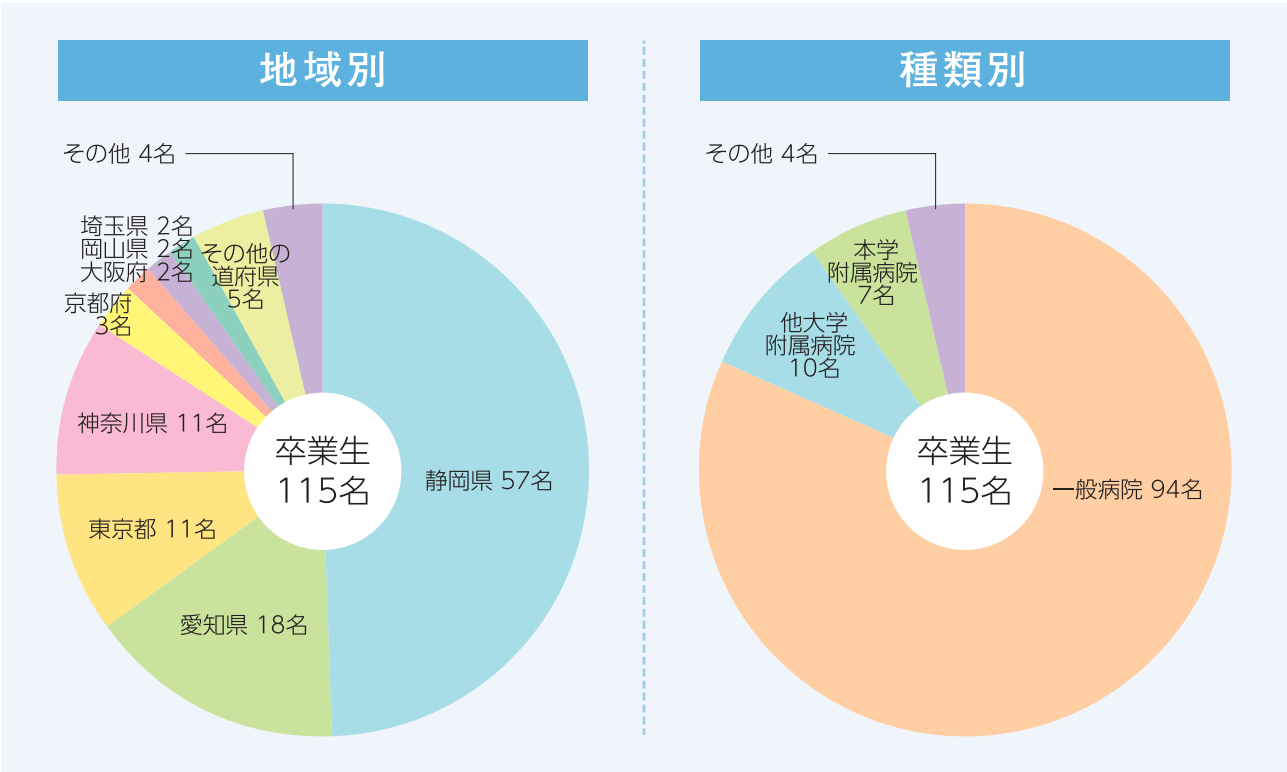
医学科6年間の教育において最後のハードルとなるのが医師国家試験です。
 本学では、医師国家試験対策として模擬試験の受験や個別の学習指導に力を入れて取り組んでいます。

年 次	回 数	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)	全国順位	全国平均 合格率 (%)
平成29年	第111回	119	123	117	95.1	10位	88.7
平成30年	第112回	119	125	120	96.0	9位	90.1
平成31年	第113回	126	131	125	95.4	11位	89
令和 2年	第114回	122	128	123	96.1	17位	92.1
令和 3年	第115回	115	120	116	96.7	8位	91.4



卒業後の進路（令和2年度卒業生データ）

医師国家試験に合格し医師免許を取得すると、大学病院または厚生労働大臣の指定する病院で2年間以上の臨床研修を受ける必要があります。





人や社会の役に立つことに喜びを覚え、多様なニーズに対応できる看護専門職を育みます。

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

医学部看護学科では、人間の生命、人間としての尊厳を重んじる倫理観と豊かな人間性、科学的知識に裏付けられた看護実践の能力を持つ看護者の育成を目指した教育を行っています。これからの看護を担うことができる以下の人材を求めています。

- 1 看護学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人。
- 2 生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人。
- 3 他者への思いやりと協調性、倫理観を有する人。
- 4 科学的好奇心が旺盛で、論理的思考能力を有する人。
- 5 社会の情勢に関心を持ち、人々の健康・福祉のために貢献する意欲がある人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

優れた看護の専門家を育成するために、医学部看護学科の教育目的・教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施し、学修成果を評価します。

- 1 教養教育、看護専門基礎教育、看護専門教育からなるカリキュラムを編成し、専門知識と技能の修得を可能にする。
- 2 自律的学修能力と応用能力を養うために、情報リテラシー教育、問題解決型学習、臨地実習を通じて、問題発見能力と推論・解決能力の向上を図る。
- 3 教養教育、医療・看護倫理教育、コミュニケーション学習、医療安全教育を通じて、豊かな人間性と高い倫理観を育む。
- 4 総合科学教育、看護専門基礎教育、看護専門教育、及び看護研究を通じて、深い洞察力と科学的探究心を育成する。
- 5 教養教育や看護専門教育を通じて、国際社会や地域社会に貢献するための看護実践能力を育む。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学部看護学科の教育課程において、以下の資質と能力を身につけ、学修目標に達したと認められる者に学士（看護学）の学位を授与します。

- 1 専門知識と技能
看護学に関する基本的な知識と技能を身につけている。
- 2 自律的学修能力と応用能力
最新の知識を習得する習慣を身につけている。
看護学における問題を抽出し、必要な情報を収集・分析して解決策を見出すことができる。
- 3 豊かな人間性と高い倫理観
豊かな人間性、高い倫理観及びコミュニケーション能力を身につけ、対象となる人の立場や視点に立って看護を実践できる。
- 4 科学的探究心
深い洞察力を身につけ、論理的思考ができる。
看護学に対する研究的視点と科学的探究心を持っている。
- 5 社会貢献力
国際社会や地域社会に貢献するために必要な資質を身につけている。

カリキュラム概要

本学カリキュラムは、看護専門科目とそれを支える看護専門基礎科目、科学・外国語から構成されています。講義・演習で学んだ知識をさらに深めるために、第3年次後学期から第4年次前学期にわたって、本学附属病院、近隣の病院、保健福祉施設等で領域別の臨地実習を行います。

※今年度(令和3年度)のカリキュラム概要です。来年度以降変更する場合があります。

総合科学	医療概論 倫理学 生命科学 心理行動科学I 物理科学 法学 医療人類学	健康と運動 心理行動科学II 医療法学 哲学 統計学	看護統計学 医療経済・社会学		日本国憲法 身体活動	
	国際サービスラーニング					
外国語	英語I、II 独語I、II	英会話 仏語I、II	英語III	英語IV		
専門基礎科目	解剖学 生理学	環境と健康 微生物学 免疫学	生化学・栄養学 人類遺伝学 病理学 病態生理学 社会福祉制度論	保健医療行政論	疫学 保健統計学 臨床薬理学 放射線医学	臨床検査医学 健康障害と食事療法
専門科目	基礎看護学					
	看護学概論 基礎看護技術I 基礎看護学実習I		基礎看護技術II 基礎看護方法論	看護倫理 基礎看護実習II		
	小児看護学					
	小児看護学概論		小児の発達と看護	小児看護援助総論	小児看護援助各論	小児看護学実習
	母性看護学					
	母性・父性の発達と健康		周産期の健康と疾病		母性看護方法論	母性看護学実習
	成人看護学					
	成人の発達と看護の役割 急性期健康問題と看護I 慢性期健康問題と看護I		急性期健康問題と看護II 回復期健康問題と看護 慢性期健康問題と看護II		成人看護学実習	
	老年看護学					
	老年期の理解と看護 老年期の生活と看護		老年期の健康障害と看護		老年看護学実習I 老年看護学実習II	
	精神看護学					
	精神の健康		精神疾患と医療	精神看護学総論	精神看護援助論 精神看護学実習	
公衆衛生看護学						
公衆衛生看護学概論		保健指導総論	保健指導方法論I 産業看護活動 学校看護活動 地区活動論 地域ケアシステム論	保健指導方法論II 健康教育論	公衆衛生看護学 応用論	
在宅看護学						
在宅看護学概論 在宅看護方法論		対象別在宅看護援助論		在宅看護学実習		
応用看護学						
感染看護				ターミナル看護 災害看護 救急看護		
総合看護学						
看護研究		統合看護		看護管理 卒業研究		

1年次

2年次

3年次

4年次

専門科目の概要

基礎看護学

基礎看護学は、看護の対象となる人々が、健康的・自律的な生活を実現するために、看護理論に基づいた看護者としてのものの見方や考え方を学び、医療職としてふさわしい倫理的な態度を形成し、基本的な看護技術を習得することを目標としています。

授業は少人数のグループで行うアクティブラーニングの考え方を中心に展開されますので、主体的な学習態度を身につけることができます。

基礎看護学における実習は、主に本学附属病院で行います。この実習は、様々な職種や対象者と接することを通じて、看護の役割と看護の対象の理解を深めること、患者の状態を把握し、必要な援助を考え、看護を計画し、看護援助の実際を体験することを目標としています。

小児看護学

小児看護学は、あらゆる健康レベルの子どもとその家族を支援の対象としています。子どもとその家族を取りまく環境や生活を理解し、子どもがすこやかに成長・発達していくために必要な援助について学びます。具体的には、子どもの成長や発達の特徴を理解し、どのような生活や養育を必要としているのかを講義や演習を通じて学習します。

実習は、本学附属病院の小児病棟、小児科外来、新生児集中治療室、および保育園で行います。実習を通じて健康状態が子どもや家族に及ぼす影響と、健康問題を抱える子どもと家族への適切な看護を実践するための基礎的な知識・技術・態度を身につけながら、看護職の役割について理解を深めることを目指します。

母性看護学

母性看護学は、人間の性の発達を理解し、思春期や更年期に性機能が大きく変化する人、妊娠と出産を経験する母親と父親になっていく人、成長している胎児、子どもの死を迎える人の看護について学びます。また、生殖補助医療や出生前診断を必要とする対象を理解します。

これらの学びを通して生命に対する畏敬の念を持ち、倫理観を育みながら、人々を取り巻く社会の歴史的変遷と少子化の背景にある現状を理解し、看護の心、人を思いやる心を育てます。

実習は、本学附属病院の周産母子センターと地域の助産院で行い、生命の誕生を中心にした母と子、その家族への看護実践を学びます。

成人看護学

成人看護学は、成人期(青年期・壮年期)にある人々を対象とした臨床看護学の一分野です。この世代の人々は、家族、職場および地域社会で中核的な役割を担い、社会経済的に要となる人々です。そのような状況にいる人々が健康な状態を維持でき、あるいは疾病を持ちながら、社会経済的な役割を担い生活していくことを看護者としてどのように支えていくのかについて学びます。

実習は本学附属病院で行い、成人期にある人の特徴と健康障害および看護に関する基礎的知識・技術を活用して対象者に応じた支援が行えるよう、看護実践能力を身につけます。



専門科目の概要

老年看護学

老年看護学の講義では、高齢社会にとって老いの意味と価値について考察します。そして、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴と長い人生で育まれた価値観の多様性を理解し、高齢者への看護支援の基礎となる知識について学習します。介護保険施設と病院で行う実習では、認知症や複数の疾患、何らかの生活機能障害を持ち施設や病院で療養する高齢者の自律を支える看護、また、人生の最終段階を生きる高齢者への看護を実践します。看護実践を通した高齢者との相互関係を体験することで、老年看護に必要な基本的知識・技術・態度を深めて統合して、高齢者とその家族が心身ともに安寧に療養するための基本的看護実践能力を身につけます。さらにさまざまな人生を生きてきたひとりの人としての高齢者の尊厳や障害を持ちながら生きることの意義について考察します。

精神看護学

精神看護学で学習する内容は、精神的な困難を抱える人だけではなく、より良い精神の健康を求めている人など、すべての人々の精神の健康を対象にしています。2年次から3年次にかけての授業では、看護の対象となる人々の生活の質（QOL）の向上とリカバリー（回復）の促進を目的とし、人間のこころ・からだ・くらしにバランス良く焦点をあて、コミュニケーションと対人関係の構築技術、身体及び精神状態をアセスメントする技術を身につけ、対象となる方々に看護を提供する力を身につけていきます。3年次から4年次にかけての臨地実習は、主に本学附属病院の精神科神経科病棟で行います。授業で身につけた知識と技術を用いて、精神症状や障がいを抱える対象者を深く理解し、夢や希望をもって自分らしく生活できるよう、支援に必要な看護実践能力を養います。



公衆衛生看護学

公衆衛生看護学は保健師の看護活動について学ぶ領域です。人々の生活の場であるコミュニティ、すなわち家庭・地域・学校・職場などにおける個人・集団・組織への予防活動を主に扱います。発達段階としては乳幼児から高齢者まで、健康レベルは健康な人から疾患・障害を持つ人まで、関わる対象が広いのが特徴です。授業では地域や職域、学校における多様な健康課題、健康課題を解決するために必要な理論や看護技術の習得、さらには地域包括ケアシステムの構築や保健事業の創出など公衆衛生看護の展開方法を学びます。実習は、浜松市を含む静岡県中西部圏域の保健所・保健福祉センター、事業場などで行い、それぞれの地域や職域における公衆衛生看護活動の実践を学びます。

在宅看護学

在宅看護学では、疾病や障害等を抱えながら地域で暮らす人々とその家族への看護活動と社会的支援を学びます。在院日数の短縮化や在宅医療の高度化などにより、医療依存度が高くても地域で療養しながら生活する人が多くなっています。住み慣れた場所で、その人らしい療養生活が送れるよう、療養者と家族の生活を理解し、主体性や価値観を尊重したセルフケアと自己決定支援を支える看護を学びます。また、地域で質の高い療養生活の実現に向けて保健・医療・福祉の相互連携による切れ目のない支援が提供できる持続可能な地域ケアシステムについて考えます。実習は、市内の訪問看護ステーション等で行います。療養者の多様な価値観と社会的背景を理解し、地域で療養生活を送る人々への看護実践能力を身につけます。

国家試験合格状況

看護師	年次	回数	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
	平成29年	第106回	65(10)	55	53	96.4	88.5
	平成30年	第107回	72(10)	62	62	100	91.0
	平成31年	第108回	70(8)	62	62	100	89.3
	令和2年	第109回	60(7)	53	53	100	89.2
	令和3年	第110回	68(7)	61	61	100	90.4

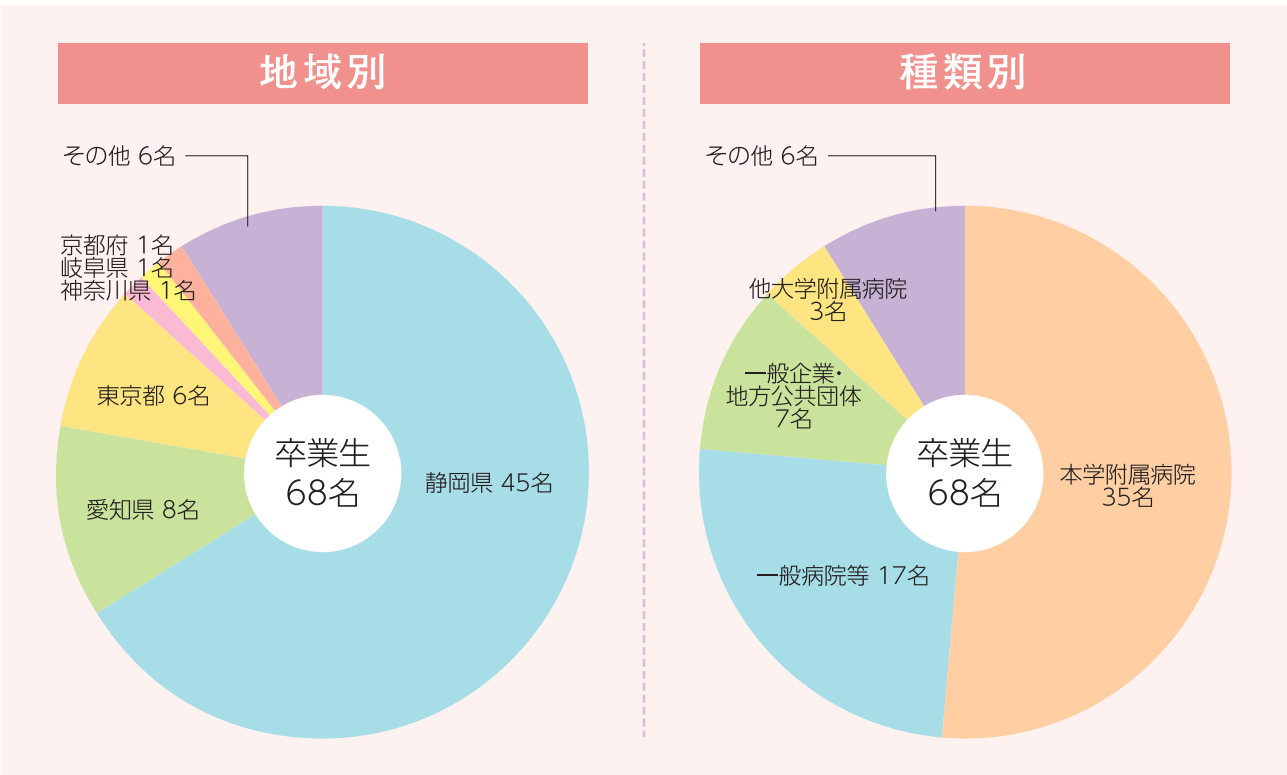
()書きは3年次編入生で内数

保健師	年次	回数	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
	平成29年	第103回	65(10)	65(10)	64(10)	98.5 (100)	90.8
	平成30年	第104回	72(10)	72(10)	70(10)	97.2 (100)	81.4
	平成31年	第105回	70(8)	70(8)	65(6)	92.9 (75)	81.8
	令和2年	第106回	60(7)	60(7)	60(7)	100.0 (100)	91.5
	令和3年	第107回	68(7)	68(7)	67(7)	98.5 (100)	94.3

()書きは3年次編入生で内数

卒業後の進路（令和2年度卒業生データ）

卒業生は大学病院などで看護師として、あるいは市役所や企業などで保健師として就職しているほか、助産師養成のための教育課程などへ進学しています。



医学系研究科

博士課程 (医学専攻)

Doctoral Degree Program Medicine

大学院医学系研究科医学専攻(博士課程)は、国際的にリーダーシップを発揮できる基礎医学研究者と臨床研究医を養成することを目的としています。

即ち、光先端医学を中心に幅広い専門分野の授業科目を履修することを基礎に、基礎研究者を目指す学生には高度の専門的知識と技術を身につけ、独創的な先端研究を遂行できる能力を養成します。

また、臨床研究医を目指す学生には、臨床研究を更に推進することができるような研究マインドを持ち、臨床の現場で広く求められる応用力を養成します。

アドミッション・ポリシー

- 1 医学・医療に関する高度の専門知識・技術を身につけた優れた研究者及び研究成果を医療の現場で活かせる臨床医などを目指す人
- 2 自立して独創的な研究を行う能力を身につけ、生涯にわたり学問を探究しようとする人
- 3 高い倫理観と人間性を備え、医学の分野で指導的役割を果たす意欲を持つ人
- 4 国際的な視野、豊かな知性と教養を身につける意欲を持つ人



静岡大学大学院光医工学研究科
浜松医科大学大学院医学系研究科

博士後期課程 (光医工学共同専攻)

Cooperative Major in Medical Photonics

共同教育課程(博士後期課程)光医工学共同専攻は、浜松医科大学がもつ光技術に応用した医学研究の環境・実績と静岡大学がもつ光・電子工学の先端研究の環境・実績を連携させ、光医学を基礎とした医工連携分野に精通した光医工学の高度専門人材の育成を目的として平成30年4月に開設されました。

両大学がもつ環境・実績を、学生・教員・研究のレベルで融合して教育課程を展開します。

アドミッション・ポリシー

- 1 光・電子工学と医学を学ぶために必要な基礎学力と、旺盛な科学への好奇心を有している人材
- 2 生涯を通して学修する意欲と向上心を持ち、知識を応用した独創的な発想ができる人材
- 3 誠実さと協調性、倫理観を有し、異なる分野の人との共同作業に取り組める人材
- 4 国際社会や地域社会に目を向けている人材



大学院 医学系研究科

修士課程 (看護学専攻)

Master's Degree Program Nursing

大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)では、これまで修得した専門的知識・技術を基盤に、科学的思考力、問題解決力、創造性と基礎的な研究能力を養い、高度な実践能力と倫理観を備えた高度専門職業人、教育者及び研究者を養成します。

平成27年度より、修士課程修了後に助産師国家試験受験資格が得られる助産師養成コースが開設されました。

アドミッション・ポリシー

- 1 科学的・論理的思考ができ、更に視野を広げたい人
- 2 新たな課題を自ら求め、創造的・先駆的研究を行う意欲を持つ人
- 3 倫理観と人間性をより深め、指導的役割を果たす意欲を持つ人
- 4 人類の健康と福祉に貢献し、国際的に活躍を目指す人



【助産師養成コース】

アドミッション・ポリシー

- 1 生命の誕生に、責任を持って真摯に向き合える誠実な人
- 2 看護学を基盤とした倫理観を持ち、人間性をより深めるための探究心を持っている人
- 3 コミュニケーションを大切にし、思いやりを持って人々と関われる人
- 4 広い視野で現代社会をとらえ、柔軟な発想で母子保健を取り巻くさまざまな課題に興味を持っている人
- 5 自ら学ぶことができる人
- 6 高度なケアを提供できる実践者、指導的な役割を担う教育者・研究者を目指している人



自分を高めてくれる
環境や人物に
出会えました

医学科3年 小栗 瑚雪

幼い頃の私はあまり体が丈夫でなく、よく風邪をこじらせては病院に連れて行かれていました。当時のかかりつけ医だった女性の先生はとても優しく朗らかな方で、その先生との出会いがきっかけで医師を目指すことにしたのです。高校3年生の初め、「私もあの先生のように誰かにとって心の拠り所となれるような医師になりたい」と決意し、浜松医科大学を受験。本学を選んだのは、生まれ育った場所で医療に貢献したいと思ったからです。

本学は、単科大学であり、縦横の繋がりが強いので、頼れる先輩や友達ができやすいというのが大きな魅力。24時間利用できる図書館やグループ学習のためのチュートリアル室など、学ぶための環境が非常に充実しています。正直なところ私はあまり勉強が好きではないのですが、そういった学習環境や、熱心に勉強に励む友人たちの存在のおかげで、学ぶ姿勢を崩すことなく日々の授業に臨むことができます。

これまで受けた授業の中でも、やはり解剖学は特に印象に残っています。実際に解剖をさせていただいた時、自分が医学の道に大きく一歩踏み出したような実感が湧きました。

専門的な知識や技術を身につけることはもちろんですが、今後は患者さんの立場に立って考えること、コミュニケーション能力を高めることにも意識を向けながら学んでいきたいです。医師になる上で私が最も大切にしているのは、患者さんがなんでも相談できるような存在になるということです。周囲の人々への感謝を忘れず、意欲的に学び続けることで、幼い頃に出会ったあの先生のような医師になりたいと思います。



Faculty of Medicine

小児看護の
プロフェッショナルへ
学校内外での学びが
理想の自分を創る

看護学科3年 鈴木 将司

私が本学を選んだ1番の理由は、医学科が併設されているから。医学的な観点からも学べるため、より体系的な理解ができると思いました。また、看護師資格に加えて保健師資格も取れるため、幅広い知識が身につくというところも決め手の1つです。

数ある授業の中でも、技術演習の授業は手順通りにいかないことが多く、苦労しました。それでも、空きコマを利用して自主練習を重ねることで、苦手を克服することができたと思います。

また、実習を通して患者さんに関われたことは、この先も忘れません。その患者さんにはどんな看護が必要なのか、2週間試行錯誤の繰り返しで、患者さんの立場に立って考えることの重要性を痛感しました。最初の授業で「看護とは何か?」と問われた時、うまく答えることができなかったのですが、こうした経験を積んだ今、自分の中で答えを見つけられたような気がします。

学業以外では、「ぬいぐるみ病院」という医療系サークルに所属しています。幼稚園や小学校で劇やクイズを交えた保健教育を行うというのが主な活動内容で、和気あいあいとしてとても楽しい活動です。また、病院でのアルバイトにも力を入れていて、小児科病棟で働いているのですが、看護師さんの働き方や薬の種類、子どもとのかかわり方など、現場でしか得られない学びがたくさんあり、とても充実しています。

看護師にとって最も大切なのは、共感力。患者さんの生い立ちや今後の人生を踏まえた上で、その患者さんが今どういう思いを抱えているのかを考えられるような看護師が私の理想です。今後も学校内外での学びを通し、一步一步着実に理想の看護師像へと近づいていきたいと思っています。



Faculty of Nursing

国際交流

近年、「グローバル化」は、大学にとっても大きな課題となっています。浜松医科大学では、この課題に取り組むため研究分野はもとより、教育においても活発な交流を行っています。本学はアメリカ、ポーランド、ドイツ、韓国、中国、バングラデシュ、トルコ、イタリア、ルワンダ、タイの10カ国、20の大学と学術交流協定、姉妹校協定を結んでおり、相互に交流を行っています。

看護学科においては、韓国の慶北大学校看護大学と交流を行っており、隔年で学生が韓国の大邱を訪問しています。

医学科においては学術交流協定を締結した海外の大学と相互に学生の受け入れを行い、またそれら以外の大学などへも学生の留学を奨励しています。特に6年生では、臨床実習を海外の大学病院などで行うことにより、参加した学生は診察やカンファレンスの進め方、医学教育や医療制度、さまざまな面で日本との違いを肌で感じ、たくさんのことを学んで帰ってきます。この取り組みに基づいて留学した場合、学生は留学先での授業料が免除となり、実習も卒業のための単位に認定されます。学生には渡航費・滞在費の一部が補助され、例年20名程度の学生が海外で実習を行っています。

国際交流協定・姉妹校

国名	大学名	協定等の内容
中国	中国医科大学	姉妹校協定
	上海交通大学医学院	学術交流協定
	河南中医薬大学	学術交流協定
	广西医科大学	学術交流協定
韓国	慶北大学校医科大学	学術交流協定
	慶北大学校看護大学	学術交流協定
バングラデシュ	ダッカ大学	学術交流協定
	シャジャラル科学技術大学	学術交流協定
	ボンゴボンデュ セイク ムジブ医科大学	学術交流協定
ドイツ	フライブルク大学医学部	学術交流協定
	デュッセルドルフ大学	学術交流協定
ポーランド	ビャウィストク医科大学	学術交流協定
	ワルシャワ医科大学	学術交流協定
	ルブリン医科大学	学術交流協定
トルコ	ヒッタイト大学	学術交流協定
アメリカ	ハワイ大学医学部	学術交流協定
	ネブラスカ大学医療センター	学術交流協定
イタリア	フィレンツェ大学 生物学部	学術交流協定
ルワンダ	ルワンダ大学 医学・保健学部	学術交流協定
タイ	タマサート大学 チュラポーン国際医学部	学術交流協定



海外留学実績

平成30年度	国名	留学先大学名	参加者数	実習内容
	ドイツ	デュッセルドルフ大学	3名	眼科、一般外科、外傷外科
		フライブルク大学	1名	整形外科
	ポーランド	ワルシャワ医科大学	3名	精神科、家庭医学、循環器内科、産婦人科、救急科
		ルブリン医科大学	4名	小児科、精神科、循環器内科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科
	アメリカ	ミシガン大学	2名	家庭医学
	中国	上海交通大学	1名	精神科
	フィンランド	タンペレ大学	1名	血管外科
	イギリス	オックスフォード大学	1名	腫瘍学
	韓国	慶北大学校看護大学	4名	看護見学実習
	コスタリカ	国際サービス・ラーニング	3名	ボランティア

平成31年度	国名	留学先大学名	参加者数	実習内容
	ドイツ	デュッセルドルフ大学	1名	産婦人科
	ポーランド	ワルシャワ医科大学	3名	精神科、家庭医学、新生児科、産婦人科
		ルブリン医科大学	2名	小児科、救急科
		ビャウィストク医科大学	1名	小児科
	アメリカ	ミシガン大学	1名	家庭医学
		ハワイ大学	2名	内科、家庭医学
			2名	サマーワークショップ
	中国	上海交通大学	2名	精神科、耳鼻咽喉科、救急科
	イタリア	トリノ大学	1名	外傷・整形外科
	マルタ	マルタ大学	1名	産婦人科
	イギリス	ロンドン大学セントジョージ校	1名	消化器内科
		グラスゴー大学	1名	小児頭頸部外科

令和2年度	国名	留学先大学名	参加者数	実習内容
	アメリカ	ハワイ大学	1名	内科、家庭医学
		シカゴ大学	1名	呼吸器内科
	イギリス	オックスフォード大学	1名	感染症内科

⇒海外留学情報

教育 > 留学関係 > 海外留学情報

<https://www.hama-med.ac.jp/education/study-abroad/info-abroad.html>



1 サークルのPR! / 2 受験生に一言!

浜松医科大学オンデマンドでも、学生生活チャンネルでサークル紹介の動画を視聴できます。



合気道部

- 1 合気道部です。合気道は護身術や健康運動目的で初心者が始めやすいスポーツです。是非皆さん合気しましょう。
- 2 受験勉強を頑張っている高校生の皆さん、大変だとは思いますが、無事乗り切り、大学生活を楽しんでください。



水泳部

- 1 初心者も経験者も、各々のスタンスで自由に泳げます! 他大学との交流も深く、イベントも盛りだくさん!
- 2 受験の道は厳しいですが、乗り越えれば楽しいこと尽くしです! プールで会えることを楽しみに待っています!



軟式テニス部

- 1 アットホームな雰囲気の中で皆仲良く活動しています。部活内で楽しいイベントも沢山行っています。
- 2 大学に入れば部活やサークルなど楽しいことが沢山待っています。新しい環境、新たな出会いまであと少し!



バトミントン部

- 1 男女仲良しでイベント盛り沢山!! 初心者大歓迎!! 先輩たちが優しく教えてくれます!! 君も一緒にバドしよう!!
- 2 最後まで諦めずに受験勉強がんばってね!! 来年の春に浜松医科大学であなたに会えるのを楽しみにしています。



男子バスケットボール部

- 1 バスケをやっていた人も、大学に入って初めてやる人も、部員一丸となって勝利のために練習に励んでいます。
- 2 受験勉強が辛い時こそ、ともに頑張る人、応援してくれる家族、先生がいることを思い出し頑張ってください!



剣道部

- 1 剣道部です。週3回、武道館にて練習しています。初心者・経験者・マネージャー大歓迎!!
- 2 高校生活楽しんで! 体調に気をつけつつ、全力で勉強頑張ってください。お待ちしております!!



男子硬式テニス部

- 1 やっぱり大学と言えばテニスでしょ! 初心者も大歓迎! 楽しい大学生活と一緒に送りませんか?
- 2 受験生の皆さん、あと少しです! 硬テで待ってまーす。



男子バレーボール部

- 1 プレイヤーもマネージャーも真剣に且つ楽しみながら、“勝ち”に拘って部活をしています。
- 2 バレーボールは、大学から始めた人でも十分活躍できるやりがいのあるスポーツです。また、イベントもたくさんあるので、充実した大学生活を送れます!



女子バスケットボール部

- 1 バスケ部は男子女子初心者経験者マネみんな仲良く活動しています! 最高の学生生活をバスケでGET☆!
- 2 バスケ部一同、皆さんを心より応援しています! 自分を信じ、夢に向かってGO! その頑張る姿、素敵です!



ボート部

- 1 日々、朝5時半から佐鳴湖でボートを漕いでいます。将来働くうえで必要な体力をつけることが目標です。
- 2 受験勉強は辛いと思いますが終われば楽しい大学生活が待っているので、それを楽しみに頑張ってください!



女子硬式テニス部

- 1 部員みんなで楽しくテニスをやってます! 男女も仲良し☆ イベントもいっぱい、とても盛りあがるヨ!!!
- 2 浜医に入ったらぜひ硬テに入部して楽しい大学生活と一緒に送りましょう。初心者も経験者も大歓迎です♡



女子バレーボール部

- 1 女子バレー部は元気いっぱいな部員27人で活動しています! バレーをやるときは真剣に、でもプライベートではめちゃくちゃはっちゃけてて、楽しい子達ばかりです。
- 2 先輩後輩の垣根を越えてみんな仲良く活動しています◎



ゴルフ部

- 1 ゴルフは大自然を感じることのできる、生涯スポーツです。様々な年代の方と交流することも魅力の一つです!
- 2 今は大変な時期でしょうが、大変なのは皆一緒です。最後まであきらめずに頑張ってください!



卓球部

- 1 卓球部では、医学科・看護学科問わずとても仲良く活動しています。是非、入部して、一緒に卓球をしましょう。
- 2 受験を乗り越えれば楽しい大学生活が待っています。是非私達と卓球しましょう。経験者、初心者大歓迎です。



ラグビー部

- 1 人工芝の環境の良いグラウンドでラグビーができます!!
- 2 初心者から始める人もたくさん! みんなとラグビーができる日を待っています!



ヨット部

- 1 風に恵まれた浜名湖で毎週末ヨットにのります! 浜松ならではのアウトドア頭脳派スポーツを楽しみましょう!
- 2 みんな初心者だからこそ切磋琢磨してアツくなれる楽しい部活です! 浜名湖でみなさんを待っています!



山岳・ワンダーフォーゲル部

- 1 こんにちは、山岳・ワンダーフォーゲル部です。毎年富士山8合目で活動しています。よろしくお願いします。
- 2 皆さんは今まさに受験という名の富士山に登っています。頂上から見える景色は最高ですよ!! It's beautiful!!

陸上部

- 1 陸上部はとてもアットホームな雰囲気です。部員は自分のペースに合わせて自由に練習しています。
- 2 陸上は手軽にできるスポーツです。陸上経験者の方から未経験者まで陸上の魅力を感じてみませんか?

四ツ葉

- 1 子どもたちに勉強を教えたり、車椅子の方の補助をしたりと、学生にも行いやすい活動を楽しんでいます!
- 2 医療系ボランティアに興味のある方、浜松医科大学に入学してぜひ一緒に楽しくボランティアをしましょう!

囲碁将棋部

- 1 昼休みにゆるく活動しています。年1, 2回大会に出がなばります。
- 2 がんばってください。お疲れ様です。

準硬式野球部

- 1 練習や試合で週3回活動しています。マネージャーも多数在籍し、学年問わず仲が良く、賑やかな部活です。
- 2 ぜひ浜松医科大学に入って、私たちと一緒に野球をしましょう!



スキー・スノーボード部

- 1 競技スキー(アルペンスキー、クロスカントリー)、レジャースキー、スノーボードなど、幅広く活動しています。
- 2 今は大変かと思いますが、最後まで頑張ってください!一緒にスキーやスノーボードを楽しみましょう!



ハンドボール部

- 1 大学から競技を始めた人が多いので初心者も楽しめる部活です。皆仲良く面白いです是非遊びに来て下さい!
- 2 今は受験勉強で大変だとは思いますが、大学に入学した後は楽しいことが待っているので頑張ってください!



弓道部

- 1 弓道部は部員同士の仲の良さ・居心地の良さが自慢です。皆弓を引く凛とした姿に惹かれ、弓道が大好きです!!
- 2 辛く苦しい気持ちで勉強しているかと思いますが、その分めちゃ楽しい大学生活が待っています!!ファイトー!!



フットサル部

- 1 練習は週に男子は5回、女子は5回なので、勉強・バイト・遊びと両立できます!初心者も大歓迎!!
- 2 受験を乗り越えたら、大学では様々なことを経験できます。フットサル部で私たちと大学生活を楽しみましょう!



空手道部

- 1 押忍!オウ主将。初心者でも先輩が優しく教えてくれるから黒帯が取れるぞ!一緒に空手やろうぜ!
- 2 がんばれ受験生...おまえがナンバー1だ!!



サッカー部

- 1 人工芝のグラウンドでプレーヤー、マネージャー共に仲良く楽しくやっています!イベントも盛りだくさん!!
- 2 サッカー部は先輩後輩とても仲良しです。サッカー大好きな熱い先輩達が君を待っています!



茶道部

- 1 こんにちは!私達は裏千家流の茶道をしています。初心者でも安心して始められるのでぜひ来てみてくださいね。
- 2 長く辛い受験勉強を乗り越えれば楽しい大学生活が待っています。一緒に活動できることを楽しみにしています!



奇術部

- 1 私たちは病院や子ども会でマジックショーをしています。将来のコミュニケーションツールとしてマジックは役立ちます。
- 2 入学したら色々なことにチャレンジできます。マジックに少しでも興味があるという方、お待ちしております。



災害支援サークルLuce

- 1 医療系学生として、災害の時にできることはないだろうか。近く大地震が起こる土地で考え、活動しています。
- 2 浜松医科大学は特色の多い大学で、Luceの存在もその1つです。受験は大変ですが、お待ちしていますよ!



東洋医学研究会

- 1 東洋医学についての理論を学んだり、漢方薬を作ったりすることを通じて東洋医学への知識を深めていきます。
- 2 部員の多くは他の部活と兼部しています。西洋医学とは一風変わった東洋医学について一緒に勉強しませんか?



HOPE

- 1 私達は国際医学生連盟を通じ留学生の受け入れと送り出しを行っております。交流の体験は非常に有意義ですよ!
- 2 受験は長く厳しい試練ですが、乗り越えられれば輝く未来と努力できた自分への自信が獲得できますよ。頑張れ



管弦楽団 オーケストラ部

- 1 私たちオケ部は、初心者・経験者問わず病院でのコンサートや定期演奏会など、精力的に活動しています。
- 2 浜医に入って、ぜひ私たちとオーケストラをしましょう!部員一同みなさんのご入学をお待ちしています♪



美術部

- 1 日本が世界に誇る伝統文化。ゆる〜く、自由がモットーの美術部に来られ、新入部員!楽しいよ。
- 2 ストレス社会と戦うあなたに。美術部。



邦楽部

- 1 私たちは、アットホームな雰囲気です。少人数で初心者が活躍しています。お琴の魅力に触れてみてください!
- 2 今は多くのことに悩んでいると思います。自分を信じて最後まで走りきってください!応援しています!



軽音楽部

- 1 一人一人が自由にバンドを組んで練習したり、ライブをしたりしています!!音楽と一緒に楽しみましょう!!
- 2 受験を乗り越えたら、浜医での楽しい学生生活が待っています!!頑張ってください!!



うなぎの会

- 1 うなぎの会では、医学論文を読んだり、心電図検定合格を目指して心電図の見方を勉強したりしています。
- 2 医学には、学んで楽しいところがたくさんあります!ぜひ医学部に入って、医学の世界を堪能してください!



つながり

SCORAはままつ

- 1 「性を知り、生を豊かに」という理念のもと、性に関するテーマの勉強会や中高生への性教育を行っています。
- 2 全国のSCORAスタッフたちと一緒に活動してみませんか?皆さんのご入学を心からお待ちしています!



ぬいぐるみ病院

- 1 模擬診察や劇で子ども達に健康について関心を持ってもらうための活動をしています!子どもも好きな人大募集!
- 2 受験は大変だとは思いますが体調に気をつけて頑張ってください!一緒に活動できるのを楽しみにしています!!

なぜ浜松医科大学を選びましたか。

医学科 1年生

地元の大学であり、将来静岡県で働きたいと思っているので、将来の役に立つ経験が必ずできると考えた。また、学校推薦型選抜があり、高校時代の頑張りをしっかり評価してもらえると思ったから。

医学科 1年生

浜松医科大学は先輩、同級生との関係が非常に近いことに加えて、脳の画像分析において世界をリードしていることもあり魅力的だと思ったから。

医学科 1年生

地元の大学でずっと憧れがあったから。オープンキャンパスにも何度も参加していて、ここで学びたいと思ったから。

医学科 1年生

臨床における強みが他の国公立よりあったから。医師国家試験の合格率が高いから。

看護学科 1年生

単科大学であり、同じ医療従事者を目指すものとして、高めあえると思ったから。また、部活動に力を入れていて、今まで部活に力を入れてきた自分に合っていると思ったから。

看護学科 1年生

国立の医学部で一般教養の教育も充実していること、附属病院があり実習がより充実すると思ったから。また単科大学で横と縦のつながりが強いことに魅力を感じたから。

看護学科 1年生

高い国家試験合格률을誇り、地域の医療に貢献できる医療従事者を育成していると思ったから。

看護学科 3年生

地元にある大学で通いやすかったから。編入学で保健師の国家試験を受ける資格が得られるため。



浜松医科大学の魅力を教えてください。

医学科 1年生

学年を超えて仲が良かったり、国試はもちろんそれぞれの部活が成績優秀で文武両道を叶えられる。コロナ禍にあっても新入生同士の交流ができる機会を設けてくれた。

医学科 1年生

先生と学生の距離が近いこと、特に、人間科学ゼミナールなどや、授業での質疑応答の時間などの時間でとことん先生と話し合えるのが良いと思う。私は附属病院で診療を受けているが、附属病院の先生方の和やかな雰囲気が好きなので、そうした場所で実習を行えるのが良いなと思う。授業が面白いこと、特に医師として働いている先生の話には、独特の重みがあり、それぞれ異なったものを得られるので授業を受けていて人間的な成長もできると思う。

医学科 4年生

単科大学の強みがふんだんに現れているところ。学年のほとんどと一年生時点で顔見知りになり、学年全体で仲良く勉強できる。そのための学内設備も整っており、グループ学習できる場所、自由に使えるスペースがかなり多い。こういった連携できる点が国家試験の合格率の高さにも結びついていると思うほど。

看護学科 1年生

授業にグループワークや発表を取り入れているため、コミュニケーション力やプレゼン力が身につくこと。

看護学科 1年生

医学部単科大学ということもあり、医学を学ぶ設備が充実している。同じ医療を目指す人同時に関わることが多く、刺激になる。

看護学科 4年生

授業や課題を真剣に取り組む学生が多いです。また、図書館が新しく快適です。学習環境も整っています。



浜松医科大学の学生生活の中で一番印象に残っていることを教えてください。

医学科 1年生

新入生オリエンテーションで医療訴訟のロールプレイをしたこと。入学したてのこの時期に医療従事者を目指す自覚を感じれたから。

医学科 2年生

後期の実験(物理、生物、化学)が印象に残っている。高校時代は自分で実験をするということがなかったため、教科書に載っている内容や、習った知識について自ら実験してみても確認することや、実験の結果から推測する行為は理解が深まり、勉強になった。

医学科 4年生

試験前などに同級生とファミレスや学内で仲良く勉強したこと。またその夜や試験後に勉強の疲れを癒すかのように仲良く食事したり、遊んだりしたこと。

看護学科 2年生

1年時の肉眼解剖実習。貴重な体験をさせていただいたと思った。肉眼で見ることで、より骨や内臓の位置、性質を詳しく知ることができた。

看護学科 4年生

グループワーク。若い方とのコミュニケーションは楽しかったです。特に医療概論の授業では、学科を超えて他の学生の意見を聞くことができ、よい刺激になりました。



昨年の学生生活を振り返って、印象に残っていることがあれば教えてください。

医学科 2年生

オンラインでの講義が多かったが、それによって時間に余裕ができ(身支度や登校の時間がなくなったため)、課題やテスト勉強などに時間を割けたと思う。また、実験や英語の講義など対面の授業や部活動もあったため、友人や先輩との交流もあり楽しかった。

医学科 3年生

昨年は、コロナの影響でイベントは中止、対面授業もなくなり、外に出る機会が減りました。しかし、2年生では解剖実習などの実習系は、コロナ対策を取った上で行うことが出来ました。医学部に入らないとできない経験ばかりでとても刺激的な一年となりました。

看護学科 2年生

看護実習のレポート発表会。全員のレポートを見ることはできなかったが、半日の実習で得た知識を自分なりに解釈し、更に調査をして発表しているひとがほとんどで、看護を追究していると感じた。



浜松医科大学を目指す受験生へのメッセージをお願いします。

医学科 1年生

単科大学のためあまり知名度が高くないが、地域医療に貢献したいと思う人でも国際的に活躍したいと思う人でもとても良いところです。全国で唯一入試にプレゼンテーションを取り入れているので、学生になってほしい姿が明確に伝わる入試をしていると思います。ぜひ浜松医科大学について調べてみてほしいと思います。

医学科 3年生

大学生になれば、いろんな友達ができ、視野や考えかたが広がります。やりたいこともたくさん見つかる充実した大学生活が送れると思います。受験勉強頑張ってください。

医学科 6年生

受験勉強をしている中、大学生活まで想いを馳せることは難しいと思いますが、私は浜松医科大学に入学してとても良かったし、充実した自由な生活は楽しくて、仲間と乗り越える試験は勉強になるだけではなく関係も深まりました。ぜひSNSなどで情報を集めて、モチベーションにしてください。

看護学科 1年生

医療を学ぶ場としてとてもいい環境が整っています。また、浜医は学生数が他大学と違って少ないので交友関係が深まり、楽しい学生生活が送れると思います。看護の子は、英語が大事になるので頑張ってください。

看護学科 1年生

今の時代に医療を志すのは勇気があるかもしれませんが、浜松医科大学は社会情勢に合わせて医療を志す人を全力でサポートしてくれる学校だと実感しています。医療従事者になるという同じ志のある仲間たちと勉強したり、雑談するのはとても刺激になります。受験勉強にくじけそうなときは、自分になりたい姿と、大学で学びたいことを伸び伸びと学んでいる自分を想像して、前向きに頑張ってください。

看護学科 3年生

勉強にも部活にも熱心な生徒が多く、モチベーション高く学生生活を送れる良い環境が整っていると思います。受験勉強頑張って、是非浜松医科大学に来てください!

ここでは受験生や保護者の皆さまからよくいただくお 受験について

Q. 今年度の入試の変更点を教えてください。

A. 大きな変更点は、下記のとおりです。

【医学科】

・出願区分の募集人員について

一般選抜及び学校推薦型選抜の一般枠・地域枠募集人員を下記のとおり変更する予定です。

確定次第本学ホームページ等でお知らせします。

	一般枠	地域枠	計
学校推薦型選抜	18名	7名	25名
一般選抜前期日程	68名	7名	75名
一般選抜後期日程	14名	1名	15名

Q. 一般選抜の2段階選抜について教えてください。

A. 【医学科】

志願者数が募集人員に対して、前期日程では4倍、後期日程では10倍を超えた場合には、大学入学共通テストの成績により1段階目の選抜を行うことがあります。

【看護学科】2段階選抜は実施しません。

Q. 出願方法について教えてください。

A. 一般選抜及び学校推薦型選抜においてWeb出願を実施しています。
その他の入試については従来通りの郵送による出願になります。

Q. 地域枠について教えてください。

A. 静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を前提とする場合の出願区分です。卒業後「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒業臨床研修及び診療業務への従事をしていただくことになります。

入学者選抜方法については、一般選抜及び学校推薦型選抜の学生募集要項をご確認ください。
静岡県医学修学資金貸与制度の詳細は、ふじのくに地域医療支援センターホームページをご確認ください。
(<https://fujinokuni-doctor.jp/igakuse/shogakukin-gaiyou.html>)

Q. 現役が有利で、既卒受験生は不利になることはありますか？
また静岡県の出身ではない場合は、入試の際に不利になることはありますか？

A. 既卒だからという理由で不利になることはありません。現役生という理由で有利になるということもありません。
静岡県出身でなくとも不利になることはありません。

Q. 出願を迷っています。出願期間中に志願者数を知ることはできますか？

A. 一般選抜においては、出願期間中、ホームページの「志願者数速報」のページにて掲載予定です。更新は締め切り日まで毎日17時頃行う予定です。

※受験については選抜要項、各試験の詳細については各募集要項をご確認下さい。

問い合わせについて、Q&A形式でまとめました。

学生生活について

Q. 入学初年度にかかる費用はどのくらいですか？

A. 入学料として282,000円、授業料（年額）として535,800円がかかります（令和3年度実績）
諸経費の金額については39ページをご参考ください。

Q. 医学科、看護学科それぞれの女子、男子の1学年あたりの人数は何人ですか？

A. 医学科では、編入学を除き1学年115人です。このうち、女子学生は毎年40人前後が入学しています。
看護学科では、編入学を除き1学年60人です。このうち、男子学生は2～3人です。

Q. 学生寮はありますか？下宿の紹介はしていただけますか？

A. 本学には学生寮はありません。下宿については、学務課学生支援係（Tel:053-435-2400）の窓口で大家・不動産業者の連絡先一覧をお知らせできます。なお、大学は紹介だけを行っていますので、契約等は当事者の責任において行ってください。

Q. 保健師の資格をとりたいと思っています。
看護学科では保健師受験資格が得られますか？

A. 大丈夫です。全員が保健師の受験資格が取得できるようカリキュラムを編成しています。

Q. 助産師の資格をとりたいと思っています。
看護学科では助産師資格を取得できますか？

A. 看護学科の学部教育で資格を取得することはできません。
本学大学院看護学専攻（助産師養成コース）では、助産師国家試験受験資格が得られます。



医学科

入試区分	年度	募集人員		志願者数			受験者数			合格者数		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計
一般選抜	平成31年度	前期	75	244	118	362	177	86	263	55	20	75
		後期	15	83	45	128	27	16	43	7	10	17
	令和2年度	前期	75	245	144	389	169	90	259	52	23	75
		後期	15	131	90	221	15	10	25	13	5	18
	令和3年度	前期	75	207	124	331	165	99	264	54	22	76
		後期	15	220	137	357	32	13	45	13	5	18
推 薦	平成31年度	25		39	40	79	38	37	75	16	9	25
	令和2年度			29	44	73	28	41	69	12	13	25
	令和3年度			43	32	75	43	30	73	17	8	25
帰国生 入試	平成31年度	若干名		2	4	6	0	3	3	0	0	0
	令和2年度			1	0	1	1	0	1	0	0	0
	令和3年度			3	0	3	3	0	3	1	0	1
私費外国人 留学生入試	平成31年度	若干名		0	1	1	0	1	1	0	0	0
	令和2年度			1	0	1	0	0	0	0	0	0
	令和3年度			0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成31年度前期日程、令和2年度及び令和3年度の一般選抜（前期・後期）の受験者数は第1段階選抜実施後の数字
※推薦の募集人員には、帰国生入試の募集人員若干名を含む ※合格者には追加合格者を含まない

医学科第2年次編入学試験

入試区分	年度	募集 人員	志願者数			第1段階選抜						第2段階選抜					
						受験者数			合格者数			受験者数			合格者数		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2年次 編入学	平成31年度	5	91	46	137	86	45	131	32	8	40	25	7	32	5	0	5
	令和2年度		75	42	117	71	39	110	28	11	39	25	11	36	5	0	5
	令和3年度		55	34	89	51	33	84	24	6	30	22	5	27	4	1	5

※合格者には追加合格者を含まない

令和3年度医学科入試 合格者の成績

※医学科帰国生入試・私費外国人入試は非公表

合格者の大学入学共通テスト 得点

入試区分(配点)	最高点	最低点	平均点
推 薦(900)	824.0 (91.6%)	706.5 (78.5%)	786.2 (87.4%)
一般選抜／前期 第一段階選抜(900)	824.0 (91.6%)	620.0 (68.9%)	714.0 (79.3%)
一般選抜／前期 第二段階選抜(450)	405.5 (90.1%)	334.5 (74.3%)	371.5 (82.6%)
一般選抜／後期 第一段階選抜(900)	865.0 (96.1%)	784.5 (87.2%)	805.9 (89.5%)
一般選抜／後期 第二段階選抜(900)	837.0 (93.0%)	785.5 (87.3%)	808.7 (89.9%)

※数字は小数点以下第2位を四捨五入 ※追加合格者は含まない

合格者の総合得点（大学入学共通テスト+二次試験）

入試区分(配点)	最高点	最低点	平均点
推 薦(1450)	1237.3 (85.3%)	1088.8 (75.1%)	1144.5 (78.9%)
一般選抜／前期 (1150)	921.7 (80.1%)	774.2 (67.3%)	819.5 (71.3%)
一般選抜／後期 (1250)	1123.3 (89.9%)	1051.8 (84.1%)	1086.4 (86.9%)

※数字は小数点以下第2位を四捨五入 ※追加合格者は含まない

看護学科

入試区分	年度	募集人員		志願者数			受験者数			合格者数		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計
一般選抜	平成31年度	前期	40	5	66	71	3	52	55	3	37	40
	令和2年度			8	94	102	8	66	74	4	36	40
	令和3年度			5	98	103	5	78	83	1	39	40
推 薦	平成31年度	20		3	48	51	3	47	50	1	19	20
	令和2年度			1	51	52	1	50	51	0	20	20
	令和3年度			0	55	55	0	54	54	0	20	20
帰国生 入試	平成31年度	若干名		0	2	2	0	2	2	0	2	2
	令和2年度			0	1	1	0	1	1	0	0	0
	令和3年度			0	1	1	0	0	0	0	0	0
社会人 入試	平成31年度	若干名		0	4	4	0	3	3	0	1	1
	令和2年度			0	3	3	0	2	2	0	0	0
	令和3年度			0	1	1	0	1	1	0	1	1

※推薦の募集人員には、帰国生入試および社会人入試の募集人員若干名を含む ※合格者には追加合格者を含まない

看護学科第3年次編入学試験

入試区分	年度	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
3年次 編入学	平成31年度	10	2	24	26	2	23	25	1	7	8
	令和2年度		4	27	31	4	26	30	1	4	5
	令和3年度		2	20	22	2	18	20	1	5	6

※合格者には追加合格者を含まない

令和3年度看護学科入試合格者の成績

※看護学科社会人入試・帰国生入試は非公表

合格者の大学入学共通テスト 得点

入試区分(配点)	最高点	最低点	平均点
推 薦(350)	287.3 (82.1%)	208.5 (59.6%)	252.5 (72.1%)
一般選抜／前期(700)	576.0 (82.3%)	482.0 (68.9%)	515.9 (73.7%)

※数字は小数点以下第2位を四捨五入 ※追加合格者は含まない

合格者の総合得点（大学入学共通テスト+二次試験）

入試区分(配点)	最高点	最低点	平均点
推 薦(700)	574.9 (82.1%)	471.5 (67.4%)	521.2 (74.5%)
一般選抜／前期(950)	803.0 (84.5%)	686.0 (72.2%)	709.8 (74.7%)

※数字は小数点以下第2位を四捨五入 ※追加合格者は含まない

入 学 料

学部 282,000円

入学料の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。入学前1年以内において、その学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合、または本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合は申請により入学料を免除することがあります。

授 業 料

年額 535,800円（前期分 267,900円 / 後期分 267,900円）

授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる学生については、選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

諸 経 費

	医学科		看護学科	
	1年次	2年次編入	1年次	3年次編入
学生教育研究災害傷害(略称:学研災)保険料	236,160円	193,300円	125,480円	66,270円
学研災付帯学生生活総合保険料				
共用試験経費				
オリエンテーション経費等				
後援会費				
同窓会費(入会金)				

学生教育研究災害傷害保険制度は、教育研究や課外活動で生じた事故を補償するための基本的な制度で、本学では入学生全員がこの保険に加入することとしています。これに加え、医学生特有の針刺し事故や感染症、賠償責任に対応した学研災付帯学生生活総合保険に全員加入することとしています。

奨学制度

1. 日本学生支援機構奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう、「貸与」または「給付」する制度です。詳細は日本学生支援機構のHPをご確認ください。(https://www.jasso.go.jp/index.html)

2. 医学部看護学科等学生に対する奨学金貸与制度

学習に専念できる環境の整備を図るとともに、本学医学部附属病院において勤務する看護職員の確保のため、看護学科学生に奨学金を貸与する制度があります。

3. その他の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による各種の奨学金制度があります。これらの奨学金は、いずれも学業優秀で、経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、貸与又は給付されます。

(1)本学のホームページから請求する場合

大学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料の請求ができます。浜松医科大学ホームページ (https://www.hama-med.ac.jp) "入試情報"の医学部「学生募集要項等」→"学生募集要項"の「請求方法」欄→「テレメール」

(2)インターネットまたは自動音声応答電話で請求する場合

①下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。	
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話ください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。	

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含)	発送開始予定
大学案内	563880	180円	8月上旬
入学者選抜要項	583880	180円	6月下旬
入学者選抜要項+大学案内	563850	215円	8月上旬
学校推薦型選抜学生募集要項	583850	140円	7月上旬
一般選抜学生募集要項	543850	140円	10月下旬
一般選抜学生募集要項+大学案内	583860	215円	10月下旬
医学部医学科第2年次編入学学生募集要項	595990	180円	7月下旬
医学部医学科第2年次編入学学生募集要項+大学案内	599000	250円	8月上旬

③ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。
テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※発送日から3～5日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間以上かかる場合もあります。1週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問合せください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
※「料金」「発送予定日」は実際の重量や完成時期により変更となる場合があります。
※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後二週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料として、「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(LINE Pay, Pay Pay, au Pay)」は88円、「クレジットカード払い」「ケータイ払い」は50円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込みもご利用になれます。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
※ 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

(3)携帯電話サイトから請求する場合

資料請求及び最新情報が入手できます。
下記のアドレスを入力するか、QRコードでアクセスしてください。

「大学情報センター」 https://daigakujc.jp/hama-med		「モバっちょ」 https://djc-mb.jp/hama-med/	
※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。			

令和4年度Web出願について

本学では、令和4年度学校推薦型選抜・一般選抜においてWeb出願を行います。これは出願者がパソコン・スマートフォン等を利用して、出願画面から説明手順に従って入力をするにより、出願手続きを行うものです。
詳細につきましては、本学ホームページ「入試情報」にて随時更新いたします。

丘陵の高台に位置し、充実した施設が集約。
学ぶ事に集中できる緑の中のキャンパス。

① 講義実習棟



医学科の学生が4年生まで授業を受ける建物です。看護学科の学生も、医学科と共通して行われる授業はこの建物で受けています。講義室の他には、解剖実習室や病理組織実習室などの実習室、学務課と入試課の事務室がおかれています。

また1階の特別講義室は大学説明会（オープンキャンパス）をはじめとして様々なイベントが行われます。

② 看護学科棟



看護学科の学生が授業を受ける建物です。講義室、実習室、実験研究室等があり、情報処理実習室など看護学以外の実習室もあります。

③ 基礎臨床研究棟



各講座の研究室や実験室があり、研究の中心となる施設です。教育・研究用の高度な機器・装置が置かれている先進機器共用推進部も設置され、日夜、研究を行っています。

④ 医工連携拠点棟



医療と工学技術分野の産・学・官が連携する建物として、地元企業との連携を進め、持続的・連鎖的な光技術の具現化を推進し、地域イノベーション・エコシステム形成プログラムを医療・医学の面から強力に推進するために整備しました。

⑤ 附属図書館



医学書を中心とした収集を行うとともに、学生の自律的学習を支える図書館「スマート・ライブラリ」構想に基づき、多様な学修スペース、情報・コミュニケーション機器、電子書籍を備えたSociety5.0型図書館への転換に力を入れています。

⑥ RI動物実験施設



基礎研究を進めるために必要なマウスなどの実験動物の飼育や、動物実験に関するサポートを行う施設です。ヒトと遺伝的に近縁であるマウス（小型霊長類の一種）を利用できるのも特徴です。学部教育では医学科3年生の基礎配属、看護学科4年生の卒業研究において活用されます。

⑦ 総合人間科学・基礎研究棟



平成29年度に新築しました。分散していた総合人間科学講座（倫理学、心理学、法学、数学、物理学、化学、生物学、英語）を集約配置し、講座のさらなる発展を目指しています。

⑪ 医学部附属病院



医学部附属病院は、医学部学生の臨床教育、卒業研修の場として設置され、「患者第一主義」をモットーに地域医療の中核として入院患者と1日あたり約1,300人の外来患者の診療を行っています。

⑧ フォトン研究棟



平成28年1月に改組・統合して設置された「光先端医学教育研究センター」の中核施設として、「光と分子の融合による新たな研究の展開と医学への応用」を目的とした多様な医学研究を行っています。

⑨ 探索的臨床研究施設



探索的臨床研究施設では、産学連携のもと創薬（新しい医薬品を開発すること）の研究を行っており、主に動物実験から臨床応用に入る段階の臨床試験を行っています。

⑩ 臨床講義棟



学生の授業のほか、各種説明会や講習・講演会など様々なイベントが行われます。また、災害時には災害対策本部が置かれる場所でもあります。



⑫ テニスコート



⑬ 武道館



⑭ 体育館



⑮ サッカー・ラグビー場



⑯ プール



⑰ 野球場



⑱ 弓道場

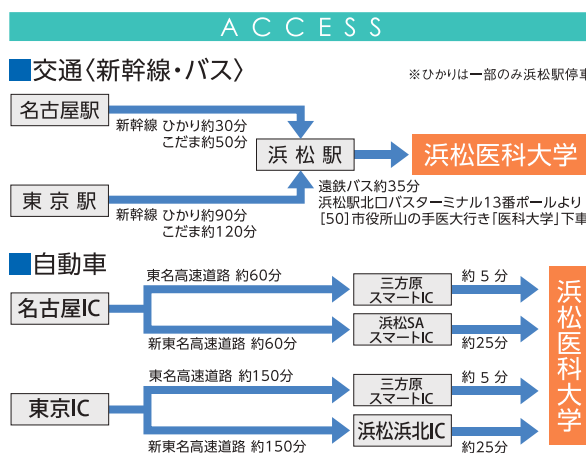


〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
TEL: 053(435)2111 <http://www.hama-med.ac.jp/>

問い合わせ先

入試課入学試験係

TEL: 053(435)2205 FAX: 053(433)7290
E-mail: nyushi@hama-med.ac.jp



浜松医科大学マスコットキャラクター
はんだやまっぴー
プロフィール
半田山の木々から生まれた山の精。常に最新の医学を勉強し、患者さんを笑顔に、元気にすることが何よりの生きがい。



浜松医科大学オンデマンド
HUSM On Demand



浜松医科大学の概要、活動内容などを伝え、多くの方に浜松医科大学の魅力を再発見していただくことを目的とした、本学の職員や学生が作成した動画Webサイトです。

教育要項参照

講義名	臨床診断学		
英文名称	Introduction to Clinical Medicine		
開講責任部署			
講義開講時期	後期	講義区分	講義・演習
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日		代表時限	
科目分類名	総論		
対象学科学年	医学科 4 年		
必修／選択必修／自由	必修		
ワイズワ-	事前にメール等でアポイントをとった上で訪問してください。		

担当教員

職種	氏名	所属
特任教授	◎ 井上 真智子	地域家庭医療学講座
特任講師	大場 健司	医学教育推進センター

TEL/E-mail (部屋番号)	井上 真智子 特任教授 2416 machiko (基礎臨床研究棟 238号室) 大場 健司 講師 2843 ohbak (医学教育推進センター)
ねらい	臨床実習に入る前に、全ての診療科において必要な基本的診療行為である、医療面接および身体診察についての理解をより一層充実させる。医療面接および身体診察に基づいて得られた所見をもとに、アセスメントを行い、臨床推論と患者説明、意思決定を行うために必要な知識・スキルを身につけることを目標とする。
学修目標	1. 医療面接において的確な情報収集ができる 2. 得られた情報にもとづき、適切に身体診察を行うことができる 3. 患者中心のコミュニケーションにより、「解釈モデル」を理解することができる 4. 論理的に臨床推論を行い、EBMを活用して共有意思決定を行うことができる 5. 診療内容を的確に診療録に記述し、プレゼンテーションを行うことができる

授業計画表

回	担当教員	所属	内容・項目
1	井上 真智子	地域家庭医療学講座	臨床推論・診断学① 例：頭痛
2	金子 惇	横浜市立大学	臨床推論・診断学② 例：発熱・胸痛、呼吸困難・咳嗽・痰
3	鳴本 敬一郎	森町家庭医療クリニック	臨床推論・診断学③ 例：腹痛
4	城向 賢	菊川市家庭医療センター	臨床推論・診断学④ 例：倦怠感・しびれ
5	松田 真和	菊川市家庭医療センター	身体診察
6	松田 真和	菊川市家庭医療センター	医療倫理・意志決定
7	金子 惇	横浜市立大学	家庭医療学①患者中心の医療（PCCM）の方法
8	樋口 智也、井上 真智子	地域家庭医療学講座	家庭医療学②ヘルスマンテナンス・家族志向型ケア
9	井上 真智子	地域家庭医療学講座	医療面接・カルテの書き方
10	予定教員		オンライン診療
11	青木 善孝	集中治療部	心肺蘇生
12	漆田 毅	内科学第三講座（循環器）	心電図
13	那須 初子	放射線診断学・核医学講座、放射線腫瘍学講座	単純写真とUS
14	那須 初子	放射線診断学・核医学講座、放射線腫瘍学講座	CTとMRI
15	田中 悟志・長田 怜	心理学・倫理学	行動科学（実習）

16	田中 悟志・長田 怜	心理学・倫理学	行動科学（実習）
17	大場 健司 田中 悟志・長田 怜	心理学・倫理学	行動科学（実習）
18	田中 悟志・長田 怜	心理学・倫理学	行動科学（実習）
19	大場 健司	医学教育推進センター	客観的臨床能力試験（OSCE）総論
20	予定教員	OSCE部会	統合演習（OSCEに向けた実習）
21	予定教員	OSCE部会	統合演習（OSCEに向けた実習）
22	予定教員	OSCE部会	統合演習（OSCEに向けた実習）
23	予定教員	OSCE部会	統合演習（OSCEに向けた実習）
24	予定教員	OSCE部会	統合演習（OSCEに向けた実習）
25	予定教員	OSCE部会	統合演習（OSCEに向けた実習）
26	予定教員	OSCE部会	統合演習ふり返り講義：頭頸部/胸部（呼吸音）
27	予定教員	OSCE部会	統合演習ふり返り講義：胸部（心音）/腹部
28	予定教員	OSCE部会	統合演習ふり返り講義：手技/救急
29	予定教員	OSCE部会	統合演習ふり返り講義：神経/医療面接
30	予定教員	OSCE部会	統合演習ふり返り講義：四肢と脊柱/バイタル/感染対策

医学／看護学教育における位置づけ	臨床実習を開始するにあたり、本学の教育目標である問題解決能力の習得、生涯にわたる自己学習の態度と習慣、臨床医として好ましい人間性とコミュニケーション技法の体得について、再度認識を深め、学習を行う。特に、臨床推論について実践的な学習を行う。
成績評価	講義の出席状況と演習の総まとめである共用試験OSCEの成績をもって評価する。
教科書	授業の際に、追って指示する。
参考書	1) マクギーのフィジカル診断学 原著第4版 診断と治療社 2019年 2) ベイツ診察法 第2版 MEDSi 2015年 3) 考える技術 臨床的思考を分析する 第3版 日経BP 2015年 4) 聞く技術 答えは患者の中にある 第2版 日経BP 2013年 5) サバイラ 身体診察のアートとサイエンス 原著第4版 医学書院 2013年
授業外における学習方法	予習は、シラバスで当日の範囲を確認し、参考書・教科書等の関連するところを熟読していただくこと。（1コマあたり45分程度） 復習は、授業で配付した資料等を読み直しておくこと。（1コマあたり45分程度） グループ等で問題集などを用いて自主的に学習を行う。
メッセージ	全国で統一実施されているOSCEでは、現在のところ基本課題として、「医療面接」「頭頸部診察」「胸部診察」「バイタルサイン診察」「腹部診察」「神経診察」「基本的臨床手技」「救急」が取り上げられている。まずはこれらをもとに、臨床推論を修得する。その他の項目も適宜扱う予定である。
主任担当教員の実務経験	医師
履修系統図ナンバリング	A03327
授業の実施形態・実施方法、質疑応答の機会	実施形態：対面実施またはWeb実施 実施方法：Zoomにてライブ配信 質疑応答の機会：講義中のチャット、またはメールにて対応 ※新型コロナウイルスの感染状況により実施形態を変更する場合があります

[ウインドウを閉じる](#)

総合診療・家庭医療

(1) 集合時間 8時15分（スタッフミーティング開始）

(2) 集合場所 各クリニック

A：菊川市家庭医療センター（あかつちクリニック）（1-2名）

B：御前崎市家庭医療センター・しろわクリニック（1名）

C：森町家庭医療クリニック（1-2名）

D：坂の上ファミリークリニック（8時10分集合）（1-2名）

E：浜松佐藤町診療所（1名）

※集合場所は曜日により異なるので初日にスケジュールを確認してください

(3) 担当教員

大学（総括）：井上真智子（地域家庭医療学講座 特任教授）

松井智子（同 特任助教）：坂の上ファミリークリニック、森町、佐藤町

宇井睦人（同 特任助教）：菊川、森町

樋口智也（同 特任助教）：御前崎、菊川

A：菊川市家庭医療センター：松田真和（所長）、潘鎮敬、城向賢、他

B：御前崎市家庭医療センター：吉野弘（所長）、綱分信二、三浦弓佳、他

C：森町家庭医療クリニック：鳴本敬一郎（所長）、堀井敦史、棚橋信子、他

D：坂の上ファミリークリニック：小野宏志（理事長）、青木茂（院長）、他

E：浜松佐藤町診療所：水谷民奈（所長）、他

(4) 実習内容

1) 到達目標

- ①家庭医療外来・在宅訪問診療の経験を通して、家庭医療、プライマリ・ケアにおける原則を理解する。
- ②よくある健康問題に対し、医療面接、身体診察、臨床推論、患者への説明と協働的意思決定、診療録記載、振り返り、エビデンス検索の一連の流れを経験することで、将来的にどの診療科でも必要な基本的診療能力を身につける。
- ③クリニック、在宅診療に関わる多職種チームの中での医師の役割と、連携のために必要なコミュニケーションについて理解する。

2) 経験することが望ましい健康問題

いずれも、よくある健康問題（急性疾患、慢性疾患、生活習慣の問題、筋骨格系、皮膚、外傷、心理・精神的問題、等）に関して、その診断およびマネジメントに必要な行動変容や意思決定・コミュニケーションを経験することが望ましい。

- ①成人の健康問題
- ②小児の健康問題
- ③高齢者の健康問題
- ④女性の健康問題
- ⑤在宅訪問診療中の患者の健康問題

3) 基本的技能の経験

●レベルⅠ（指導医の指導・監視の下で実施されるべき医行為）

- ①医療面接、身体診察、検査オーダー、診療録記載、ケースプレゼンテーション

②臨床推論に基づく患者への説明、協働的意思決定

③採血、点滴、軽度の創傷処置

●レベルⅡ（指導医の実施の介助・見学が推奨される医行為）

①人生の最終段階（終末期）や複雑性の高い状況にある患者・家族への面接

②関節注射、腹腔穿刺等侵襲性の高い手技

(5) 評価基準

1) 診察評価（指導医による日々の観察）

2) 実習のまとめ発表スライド（実習終了時に発表の機会があります）

3) ポートフォリオ記載・レポート1例

(6) 学生へのメッセージ・注意事項

1. 白衣、名札、聴診器、メモ帳・筆記具、タブレットまたはノートパソコン（情報検索と資料作成のために必要）を持参してください。

2. 実習中はクリニックスタッフの一員となります。患者さん、ご家族、地域住民の皆さんには礼儀正しく責任ある態度で接してください。

3. クリニックスタッフには自己紹介、挨拶をし、わからないことは質問して円滑なコミュニケーションを取りましょう。

4. ジーパン、短パン、ミニスカート、Tシャツ、サンダル、肌の露出の多い服装は控え、清潔感のある身だしなみを心がけてください。マスクは、各自で持参してください。

5. 診察の始めには、患者さんへ名札を見せて「浜松医科大学の学生の〇〇です」と挨拶をしてください。

6. やむを得ない事情での遅刻・欠席、また緊急事態発生時は、速やかに各クリニックに電話で連絡してください（集合時間前に連絡のこと）。メールはすぐに確認されない場合があります。電話がつかないときにのみ、メールを使用し、後に電話も行ってください。

7. A, B班は御前崎病院の宿舎に泊まります。掃除、片付けを心がけ、きれいに使用してください（別途、宿舎使用マニュアルを参照のこと）。

8. 実習外における学習方法・時間：診療した患者の健康問題やケアに関する論文を読むこと。実習内容等を踏まえてポートフォリオを記載すること（45分程度）。

【コーディネーター（事務担当者）の連絡先】

- A. 菊川市家庭医療センター（本杉）：Tel: 0537-73-2267（受付）Tel: 0537-73-5551（直通）
E-mail: sfm@tenor.ocn.ne.jp
- B. 御前崎市家庭医療センターしろわクリニック（若林）：Tel: 0548-23-3211
E-mail: sfmshirowa@maotv.ne.jp
- C. 森町家庭医療クリニック（森田）：Tel: 0538-85-1340
E-mail: mfc-coordinator@hosp-morimachi-shizuoka.jp
- D. 坂の上ファミリークリニック（中村）：Tel: 053-416-1640
E-mail: hayato5738@gmail.com
- E. 浜松佐藤町診療所（大城）：Tel: 053-465-0210
E-mail: ohshiro_mail@yahoo.co.jp
- 大学地域家庭医療学講座（鈴木・玉城）：Tel: 053-435-2416
E-mail: fammed@hama-med.ac.jp

(7) スケジュール（例）

※クリニックにより異なります

	月	火	水	木	金
午前 8:15-12:00	オリエン / 外来 / 訪問診療	外来 / 訪問診療	訪問看護 / 施設見学	外来 / 訪問診療	外来 / 訪問診療
午後 13:30-17:00	外来 / 訪問診療 振り返り	施設見学 / 地域活動 振り返り	外来 / 訪問診療 振り返り	14:00 ~ グラウンドラウン ド・自習等	外来 / 訪問診療 最終発表 振り返り

※グラウンドラウンド（合同勉強会）は、隔週であります。オンライン開催または集合形式となります。場所・内容を適宜確認してください。

※訪問看護、施設見学、地域活動等は、同じグループでも人によってスケジュールが異なりますので始めに確認してください。施設見学などは、クリニック外の施設での実習となります。

医 地 第 406 号
令和 4 年 8 月 17 日

厚生労働省医政局長 様

静岡県健康福祉部長 八木 敏裕

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 4 年 8 月 10 日付け 4 文科高第 627 号、医政発 0810 第 4 号に基づき、下記のとおり、令和 5 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

68 名

- ・ 浜松医科大学医学部における地域枠：15 名
- ・ 川崎医科大学医学部における地域枠：10 名
- ・ 近畿大学医学部における地域枠：10 名
- ・ 帝京大学医学部における地域枠：2 名
- ・ 日本医科大学医学部における地域枠：4 名
- ・ 東海大学医学部における地域枠：3 名
- ・ 順天堂大学医学部における地域枠：5 名
- ・ 関西医科大学医学部における地域枠：8 名
- ・ 昭和大学医学部における地域枠：8 名
- ・ 日本大学医学部における地域枠：3 名

担 当：医療局地域医療課医師確保班 秋山
電話番号：0 5 4 - 2 2 1 - 2 8 6 7

教 育 課 程 等 の 概 要														
(医学部医学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科学	医療経済・社会学	1前	2			○								兼1
	医療人類学	1前	2			○								兼2
	医療法学Ⅰ	1前	2			○			1					
	医療法学Ⅱ	1後	2			○			1					
	倫理学	1後	2			○				1				
	哲学	1前	2			○				1				
	心理行動科学Ⅰ	1前	2			○			1					
	心理行動科学Ⅱ	1後	2			○			1					
	国際サービス・ラーニング	3通			1	○		○						
	自然科学入門	1前	2			○								兼2
	数理科学Ⅰ	1前	2			○			1					
	数理科学Ⅱ	1後	2			○			1					
	物理科学Ⅰ	1前	2			○			1					
	物理科学Ⅱ	1後	2			○			1					兼1
	物理学実験	1後	0.5					○	1			1		兼1 共同
	物質科学Ⅰ	1前	2			○			1					
	物質科学Ⅱ	1後	2			○				1				共同
	化学実験	1後	0.5					○	1	1		1		
	基礎生物学Ⅰ	1前	2				○		1					
	基礎生物学Ⅱ	1後	2				○			1				
	生物学実験	1後	0.5					○	1	1		1		兼2 共同
		小計（21科目）	—	35.5	0	1	—			6	3		3	
外国語	医学英語Ⅰ	3前	1				○		1	1	1	1		
	医学英語Ⅱ	3後	1				○		1	1	1	1		
	医学英語Ⅲ	4前	1				○			1	2	1		
	独語Ⅰ	1前			1		○							兼1
	独語Ⅱ	1後			1		○							兼1
	仏語Ⅰ	1前			1		○							兼1
	仏語Ⅱ	1後			1		○							兼1
	中国語Ⅰ	1前			1		○							兼1
	中国語Ⅱ	1後			1		○							兼1
	小計（9科目）	—	3	0	6	—			1	1	2	1		
基礎教育科目	データサイエンス	1前	2			○			1					兼3 オムニバス
	生物統計学	2後	2			○			3	1	1	1		オムニバス
	人間科学ゼミナールⅠ	1前	1				○		7	4				
	人間科学ゼミナールⅡ	1後	1				○		7	4				
	小計（4科目）	—	6	0	0	—			11	5	1	1		
総論	医学概論Ⅰ	1前	3			○	○	○	10	1	1	1		兼10 オムニバス・共同（一部）
	医学概論Ⅱ	2前	4			○	○	○	5	4	2	2		兼7 オムニバス・共同（一部）
	臨床医学総論	4後	4			○	○		12	6	6	3		兼13 オムニバス・共同（一部）
	光医学の基礎と臨床応用	4後～6通	1			○	○		8	3	2	3		オムニバス・共同（一部）
	総合診療学・老年科学	6通	1			○			7	1	1	2		兼7 オムニバス
	小計（5科目）	—	13	0	0	—			25	11	8	8		

基礎・ 社会医学	分子基礎医学Ⅰ	2前	2			○			3	2		3		オムニバス
	分子基礎医学Ⅱ	2前	2			○			2	1		3		兼1 オムニバス
	解剖学Ⅰ	1通	5			○		○	3	1		6		兼6 オムニバス・ 共同（一部）
	解剖学Ⅱ	2前	4					○	4	1		6		兼6 オムニバス・ 共同（一部）
	生化学	2通	6.5			○		○	2	2		2		オムニバス・ 共同（一部）
	生理学	2後	6.5			○		○	2	1		4		兼2 オムニバス・ 共同（一部）
	感染症学・免疫学	2後	6.5			○		○	2			3		兼3 オムニバス・ 共同（一部）
	薬理学	3通	3			○		○	1	1		2		オムニバス・ 共同（一部）
	病理学（総論）	2後	2.5			○		○	2	3		3		兼3 オムニバス・ 共同（一部）
	病理学（各論）	3通	4			○			2	3		3		兼9 オムニバス
	健康社会医学	3通	5			○		○	3	1		3		兼2 オムニバス・ 共同（一部）
	法医学	4前	1			○				1		2		オムニバス
	基礎配属	3通	5					○	27	15	1	18		兼6 共同
	PBL（基礎）	2後	0.5				○		5	4	3	2		オムニバス・ 共同（一部）
	小計（14科目）	—	53.5	0	0	—			30	16	4	20		
臨床医学	放射線医学	3通	1			○			2	1	1	5		オムニバス
	腎臓内科学	3通	1			○				2	1	1		オムニバス
	泌尿器科学	3通	0.5			○			1	2	1			兼2 オムニバス
	循環器内科学	3通	1			○			2	2	2	3		兼5 オムニバス
	心臓血管外科学	3通	1			○			1		2	2		兼1 オムニバス
	呼吸器内科学	3通	1			○			1	1	3	2		兼4 オムニバス
	呼吸器外科学	3通	0.5			○			1	1		1		オムニバス
	内分泌・代謝内科学	3通	1			○					5	3		兼3 オムニバス
	脳神経外科学	3通	0.5			○			1	1	1	2		兼3 オムニバス
	眼科学	3通	1			○			1	1	2	4		兼1 オムニバス
	耳鼻咽喉科学	3通	1			○			1		2	3		兼1 オムニバス
	脳神経内科学	3通	0.5			○			2			1		兼1 オムニバス
	精神科学	3通	2			○			4		2	4		兼4 オムニバス
	消化器内科学	3通	1			○			1	1	1	7		オムニバス
	消化器外科学	3通	0.5			○			2	5	3	3		兼2 オムニバス
	血液内科学	4前	1			○			2	2		1		兼1 オムニバス
	免疫内科学	4前	0.5			○				1	1	2		兼1 オムニバス
	臨床検査医学	4前	1			○			1			3		兼2 オムニバス
	整形外科	4前	1			○			3	2	4	4		兼7 オムニバス
	リハビリテーション医学	4前	0.5			○				1		1		オムニバス
	皮膚科学	4前	1			○			1	1	2	4		兼1 オムニバス
	産婦人科学	4前	2			○			1	3	4	4		兼6 オムニバス
	小児科学	4前	2			○			2	4	4	5		兼1 オムニバス
	麻酔・集中治療医学	4前	1			○			1	3	2	5		兼1 オムニバス・ 共同（一部）
	救急災害医学	4前	1			○			1	3	2	2		オムニバス
	臨床薬理学	4前	1			○			2	2		1		兼5 オムニバス
	形成外科学	4前	0.5			○			1			1		兼4 オムニバス
	臨床腫瘍学	4前	0.5			○			3	2	4	5		兼1 オムニバス
	PBL（臨床Ⅰ）	3通	2				○		5	4	3	2		オムニバス・ 共同（一部）
	PBL（臨床Ⅱ）	4前	2				○		5	4	3	2		オムニバス・ 共同（一部）
	画像診断学	6通	1				○		1	1	1	3		兼1 オムニバス
	臨床解剖学	6通			0.5			○	3	3	6	6		オムニバス・ 共同（一部）
	臨床栄養学	6通			1	○			4	4	2	2		オムニバス
	シミュレーション メディシン	6通			0.5		○		2	2		2		オムニバス・ 共同（一部）
	小計（34科目）	—	31.5	0	2	—			35	35	39	71		

臨床医学Ⅰ	内科学Ⅰ	4後～5通	9					○	4	4	9	25		兼5 共同
	内科系Ⅰ	4後～5通	3					○	6	8	2	13		兼3 共同
	精神神経医学Ⅰ	4後～5通	4					○	2		2	6		共同
	小児科学Ⅰ	4後～5通	4					○	3		4	3		兼1 共同
	外科学Ⅰ	4後～5通	6					○	3	3	4	8		兼9 共同
	外科系Ⅰ	4後～5通	3					○	2	2	2	2		兼6 共同
	脳神経外科学Ⅰ	4後～5通	2					○	1	1	2	3		共同
	整形外科Ⅰ	4後～5通	2					○	1	2	4	4		兼4 共同
	泌尿器科学Ⅰ	4後～5通	2					○	1	2	1	3		共同
	眼科学Ⅰ	4後～5通	2					○	1	1	2	3		共同
	耳鼻咽喉科学Ⅰ	4後～5通	2					○	1		2	3		兼2 共同
	産科婦人科学Ⅰ	4後～5通	4					○	1	3	2	3		兼4 共同
	放射線医学Ⅰ	4後～5通	1					○	2	1	1	4		共同
	麻酔・集中治療医学Ⅰ	4後～5通	2					○	1	2	2	5		兼4 共同
	家庭医療学Ⅰ	4後～5通	2					○	1		1	1		共同
小計（15科目）	—	48	0	0	—			30	28	40	85			
臨床医学Ⅱ	内科学Ⅱ	5後～6前	2					○	4	4	9	25		共同
	精神神経医学Ⅱ	5後～6前	2					○	2		2	6		共同
	小児科学Ⅱ	5後～6前	2					○	3		4	3		共同
	外科学Ⅱ	5後～6前	2					○	3	3	4	8		共同
	脳神経外科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	1	2	3		共同
	整形外科Ⅱ	5後～6前	2					○	1	2	4	4		共同
	リハビリテーション医学Ⅱ	5後～6前	2					○		1		2		共同
	皮膚科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	1	2	4		共同
	泌尿器科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	2	1	3		共同
	眼科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	1	2	3		共同
	耳鼻咽喉科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1		2	3		共同
	産科婦人科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	3	2	3		兼3 共同
	放射線医学Ⅱ	5後～6前	2					○	2	1	1	4		共同
	麻酔・集中治療医学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	2	2	5		兼1 共同
	歯科口腔外科学Ⅱ	5後～6前	2					○	1		2			兼2 共同
	救急医学Ⅱ	5後～6前	2					○	1	1		1		共同
	臨床薬理学Ⅱ	5後～6前	2					○	2	2		1		共同
	病理診断学Ⅱ	5後～6前	2					○	2	3		2		共同
	形成外科学Ⅱ	5後～6前	2					○		1		1		共同
	家庭医療学Ⅱ	5後～6前	2					○	1		1	1		共同
	総合医療実習	6前			6			○	2		1			共同
小計（21科目）	—	0	40	6	—			31	27	41	82			
合計（123科目）		—	178	40	15	—			55	36	36	127		
学位又は称号		学士（医学）			学位又は学科の分野				医学					
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
							1 学年の学期区分				2 期			
							1 学期の授業期間				15 週			
							1 時限の授業時間				90 分			

（注）

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。